

熊本市駐車場実態調査

調査結果概要

目 次

熊本市駐車場実態調査 全体概要.....	1
Ⅰ. 駐車施設調査.....	2
Ⅱ. 利用実態調査.....	11
Ⅲ. 平面駐車場地権者の意向調査.....	22
Ⅳ. 駐車場利用者聞き取り調査.....	31
Ⅴ. 附置義務事業者アンケート調査.....	40
Ⅵ. 路上駐車実態調査.....	57
Ⅶ. 歩行者・自転車交通量調査	62
巻末資料（各調査票）	64

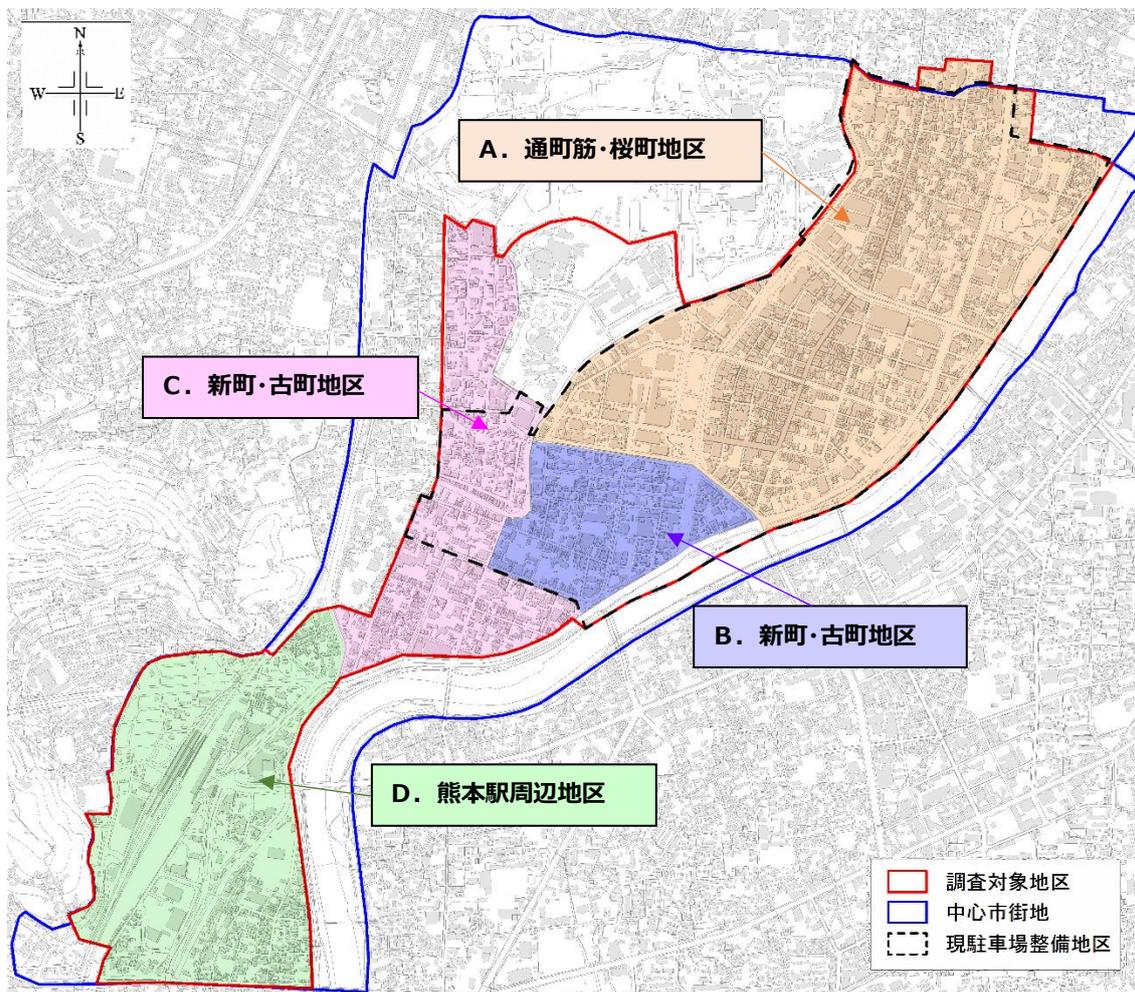
熊本市駐車場実態調査 全体概要

1. 調査スケジュール

調査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
駐車施設調査	調査計画	現地調査	取りまとめ		現地調査実施 11月19日（火）、11月26日（日）				
利用実態調査				調査計画	★	調査結果取りまとめ・分析			
平面駐車場地権者の意向調査			アンケート設計		回答期間	調査結果取りまとめ・分析			
駐車場利用者聞き取り調査				調査計画	★	調査結果取りまとめ・分析			
附置義務事業者アンケート調査				アンケート設計		回答期間	調査結果取りまとめ・分析		
路上駐車実態調査				調査計画	★	調査結果取りまとめ・分析			
歩行者・自転車交通量調査				調査計画	★	調査結果取りまとめ・分析			

2. 調査対象範囲

中心市街地のうち、下図（赤枠）に示す約 256ha を対象に調査を行った。



I. 駐車施設調査

1. 調査概要

調査対象範囲にある駐車場施設について、目視により調査を行った。

(1) 調査項目

項目	調査項目
名称	駐車場名称（〇〇パーキング等）
所在地	住所（座標）
用途別	店舗（種別）、事務所（事業所名等）、月極、時間貸し等
車種別収容台数	小型（軽自動車専用は別途）、大型、障がい者用の収容可能台数
構造	平面、立体
出入口	出入口の場所（箇所数、入退場方向数）と間口幅（机上確認）
車両制限	駐車可能車両寸法（高さ〇m以下等）
駐車料金	時間当たり、1日最大料金等
提携割引	提携店舗、事務所
利用時間	利用可能時間
休業日	休業日
電話番号	管理者電話番号
決済手段	現金、クレジットカード、ICカード等
法的分類	附置義務、届出
管理者	管理者名

2. 調査結果

調査結果の概要を以下に示すとともに、駐車場の分布状況を、次頁以降に添付する。なお、時間貸しと月極が併用している駐車場については、時間貸しとして計上している。

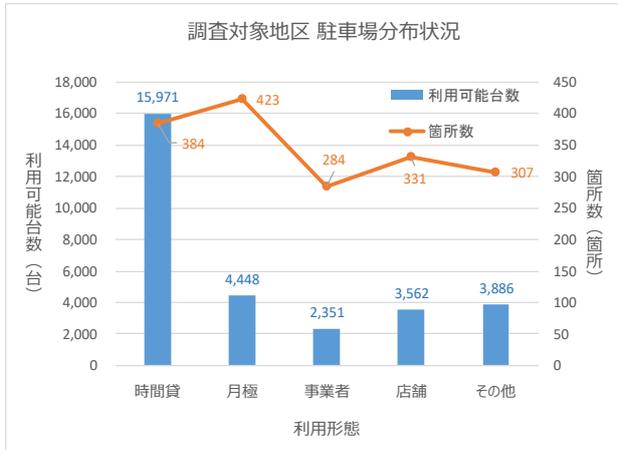
- 調査対象地区全体で、1,729 箇所・30,218 台の駐車場が存在する。
- A. 通町筋・桜町地区においては、時間貸し駐車場が圧倒的に多く、利用可能台数においては調査対象地区全体の 43%を占める。また、大規模な立体駐車場が多い。
- B. 新町・古町地区においては、事業者・店舗に付随する駐車場が多く存在する。
- C. 新町・古町地区においては、月極駐車場が特に多い。
- D. 熊本駅周辺地区においては、利用形態別では満遍なく存在している。

【駐車場分布状況一覧】

	利用形態別			構造別		
	利用形態別	利用可能台数	箇所数	構造別	利用可能台数	箇所数
A. 通町筋・桜町地区	時間貸	12,900	224	立体	11,409	95
	月極	1,059	112	平面	6,234	556
	事業者	1,264	110			
	店舗	1,404	116			
	その他	1,016	89			
	計	17,643	651			
B. 新町・古町地区	時間貸	592	50	立体	672	17
	月極	628	61	平面	2,588	264
	事業者	478	64			
	店舗	692	53			
	その他	870	53			
	計	3,260	281			
C. 新町・古町地区	時間貸	803	58	立体	230	9
	月極	1,582	132	平面	3,730	396
	事業者	279	50			
	店舗	492	85			
	その他	804	80			
	計	3,960	405			
D. 熊本駅周辺地区	時間貸	1676	52	立体	1087	15
	月極	1179	118	平面	4268	377
	事業者	330	60			
	店舗	974	77			
	その他	1196	85			
	計	5,355	392			
調査対象地区計	時間貸	15,971	384	立体	13,398	136
	月極	4,448	423	平面	16,820	1,593
	事業者	2,351	284			
	店舗	3,562	331			
	その他	3,886	307			
	計	30,218	1,729			
現駐車場整備地区	時間貸	13,725	296	立体	12,111	115
	月極	2,301	221	平面	10,259	971
	事業者	1,817	187			
	店舗	2,396	208			
	その他	2,131	174			
	計	22,370	1,086			

利用形態別分布状況

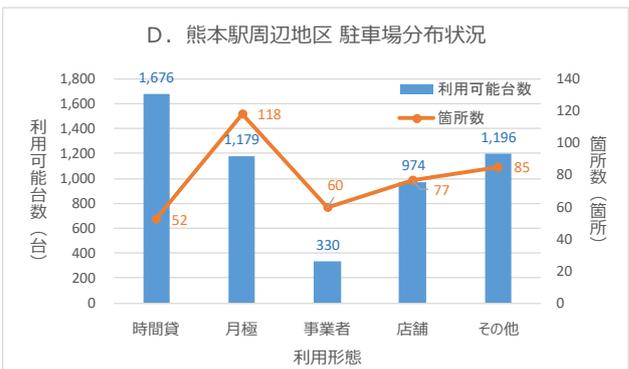
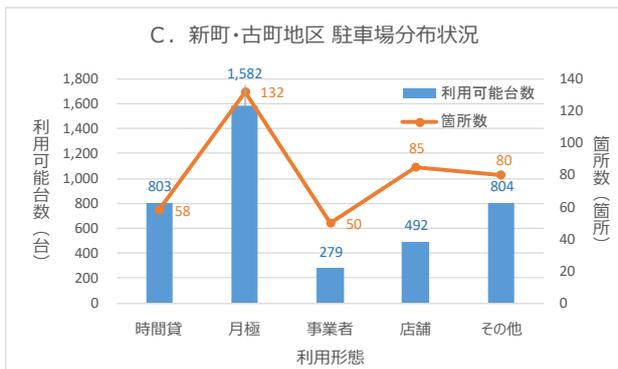
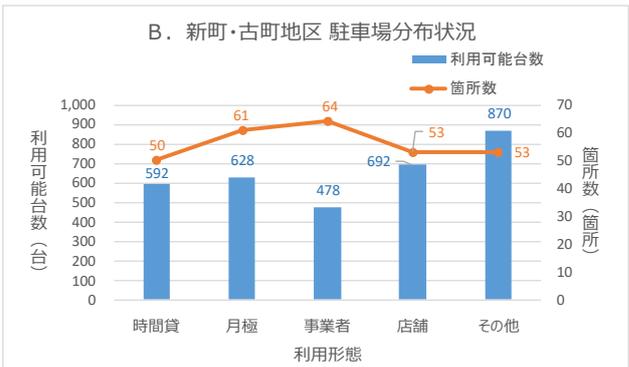
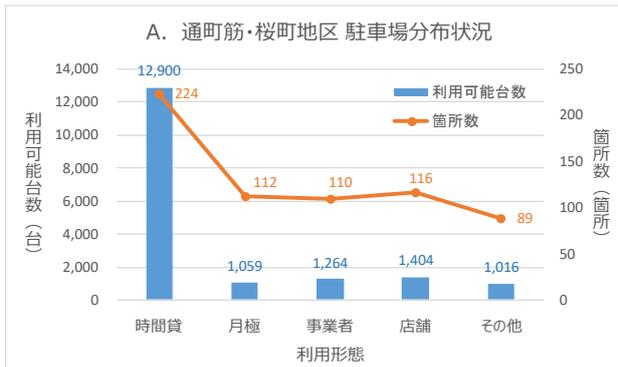
【調査対象地区全体】



【現駐車場整備地区】



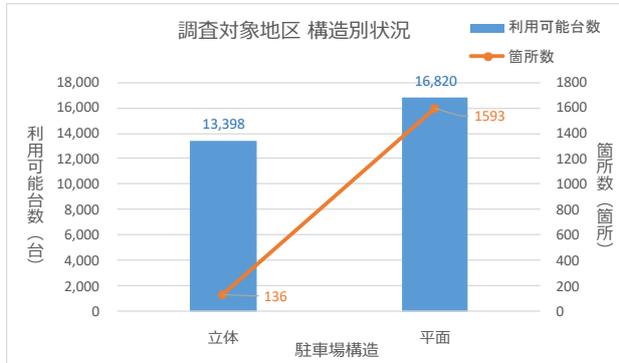
【地区別】



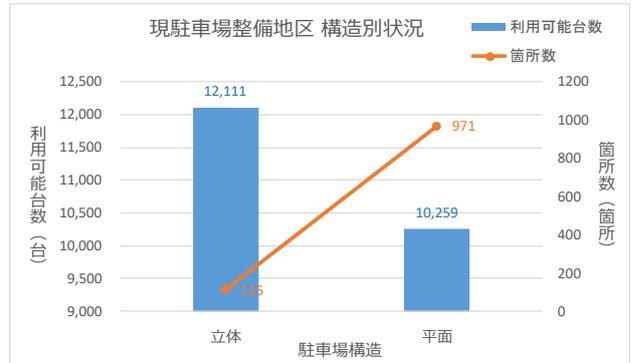
※その他にはマンション等住宅に設置されている駐車場等を含む

駐車場構造別分布状況

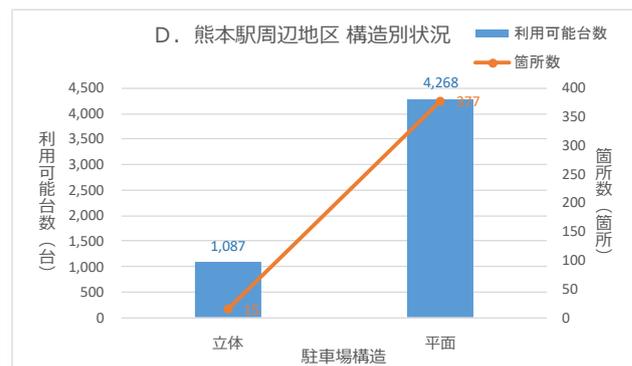
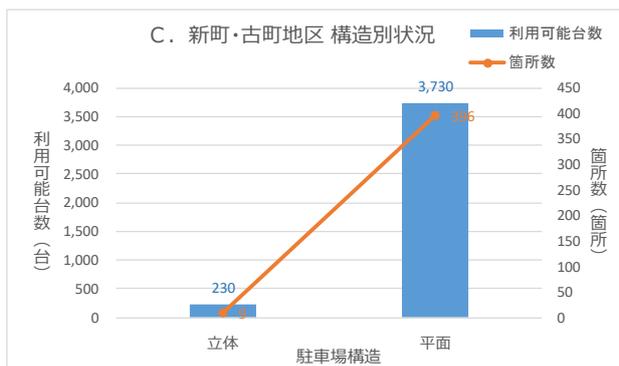
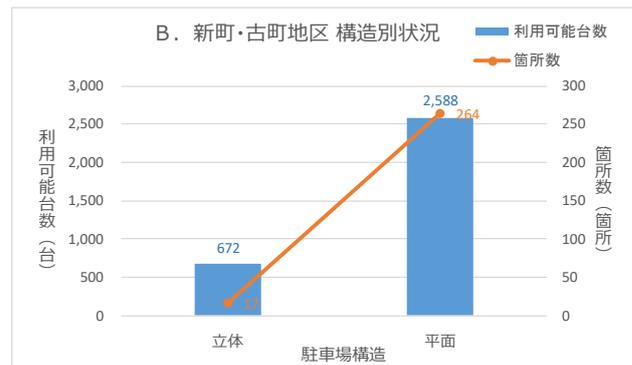
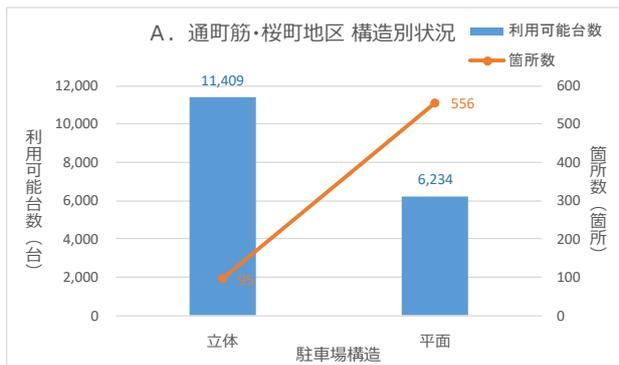
【調査対象地区全体】



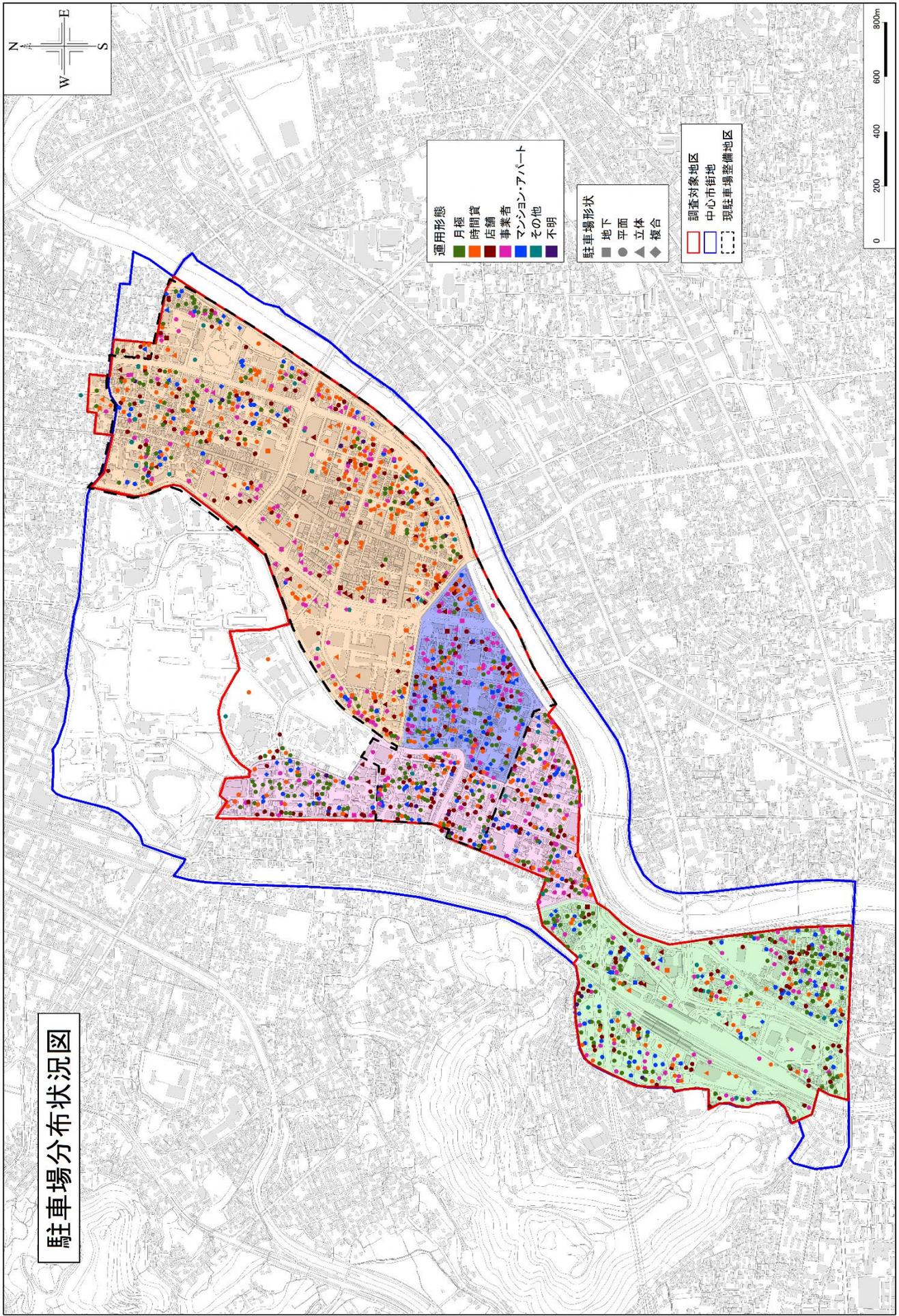
【現駐車場整備地区】



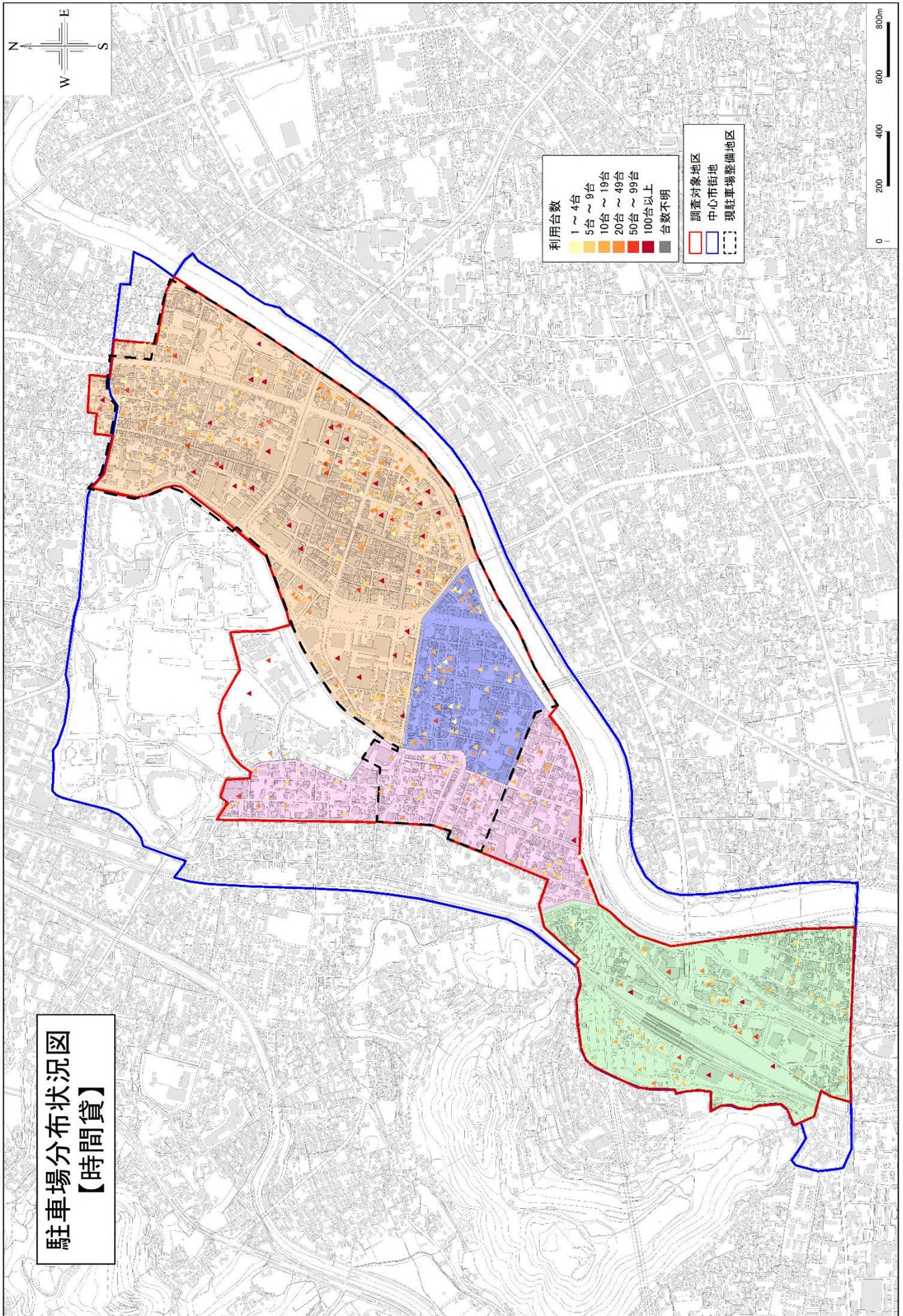
【地区別】

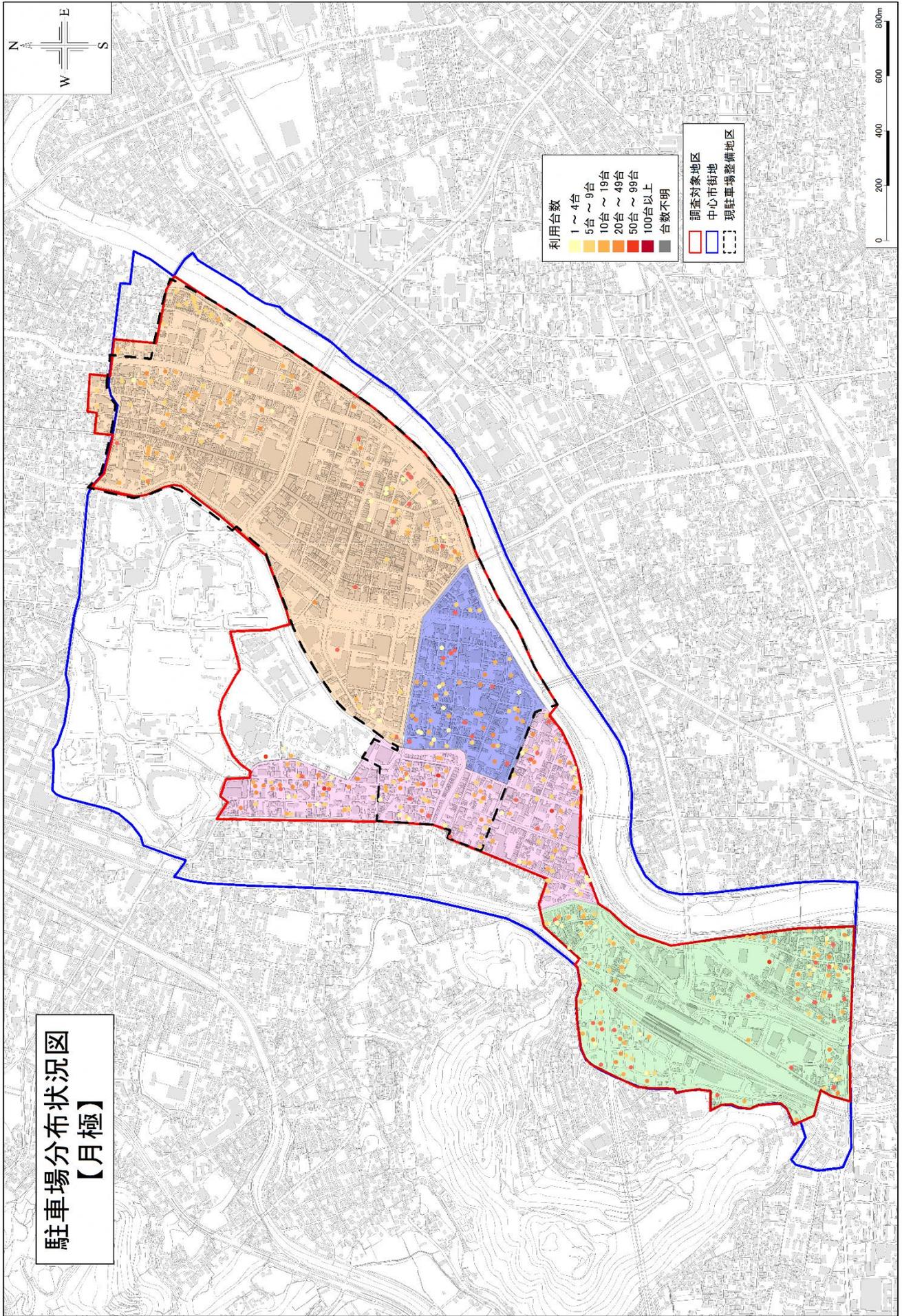


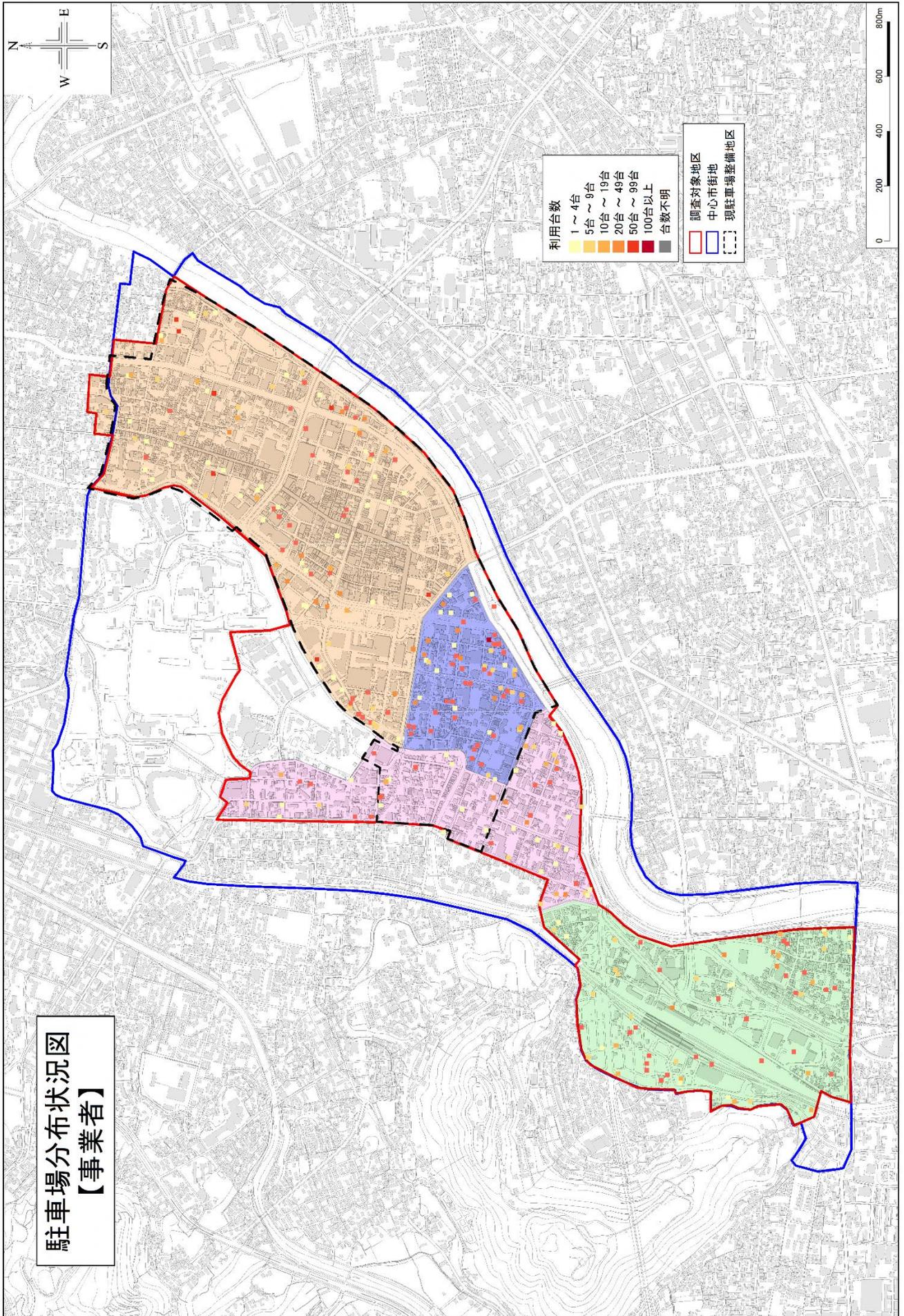
※立体には、地下構造も含む

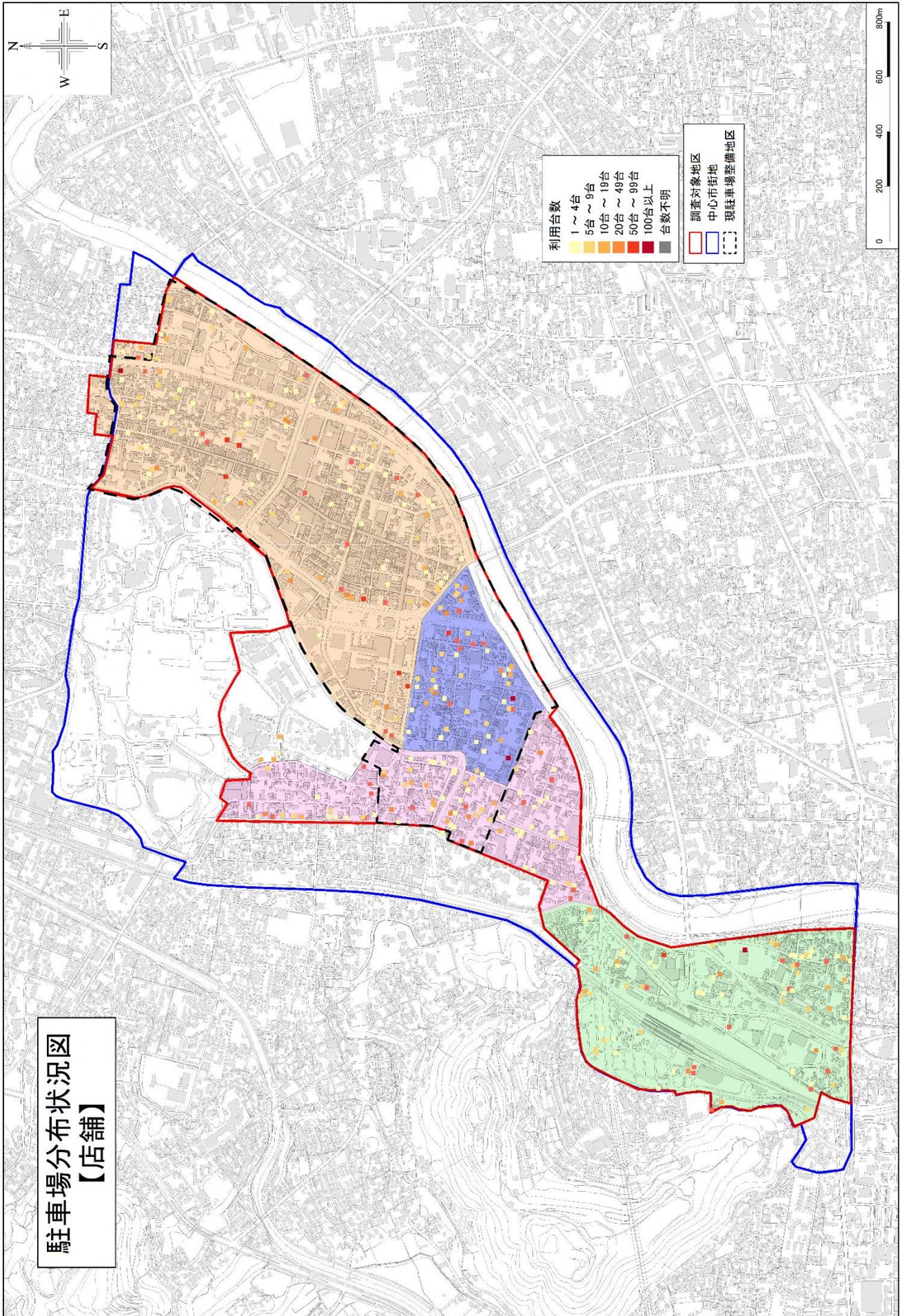


駐車場分布状況図









II. 利用実態調査

1. 調査概要

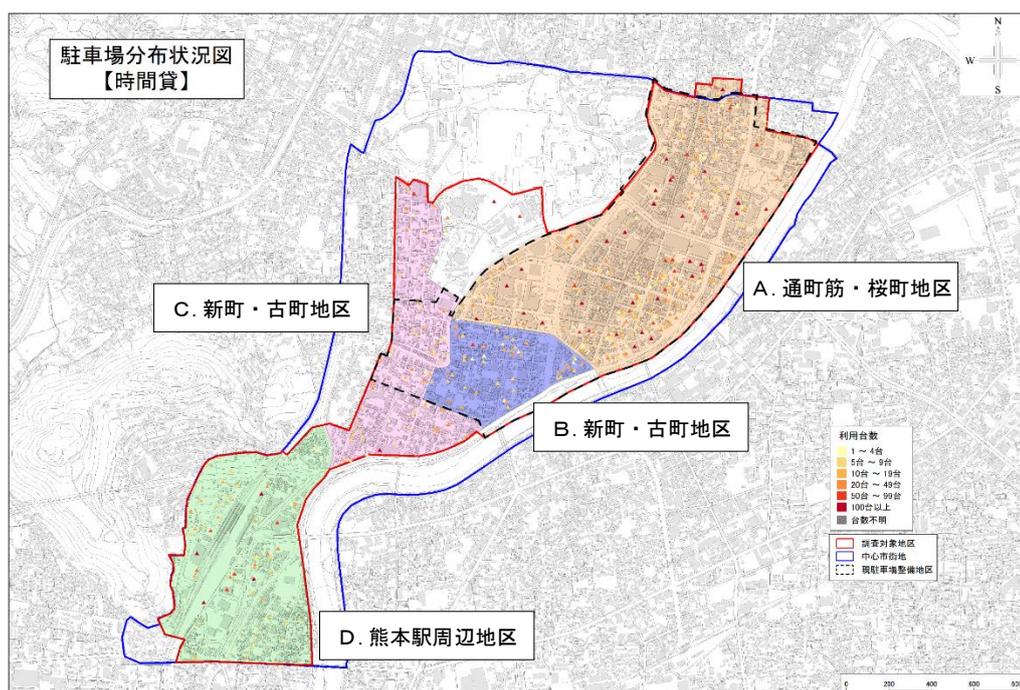
代表駐車場の利用実態（満空率、入出庫台数）について、平日・休日各1日において調査を行った。

(1) 調査対象駐車場

調査対象範囲内にある時間貸し駐車場を対象に、時間貸し駐車場全体数の約2割において調査を行った。調査対象駐車場の選定においては、4ゾーン毎に駐車場の立地分布、利用可能台数の分布状況に応じて、箇所数と対象を選定した。なお、立体駐車場については、立地位置を考慮しつつ、管理者の同意が得られた駐車場について調査を行った。

		上段：箇所数				下段：(利用可能台数)		
		A. 通町筋・桜町地区	B. 新町・古町地区	C. 新町・古町地区	D. 熊本駅周辺地区	合計	(参考)箇所当たり利用可能台数	
構造別	立体	10 (4,174)	— —	— —	1 (530)	11 (4,704)	427※	
	平面	37 (637)	13 (164)	14 (154)	15 (191)	79 (1,146)	14	
	利用可能台数別※	5台未満	5 (17)	2 (7)	2 (8)	2 (7)	11 (39)	3
		5台以上	11 (85)	4 (28)	5 (35)	5 (38)	25 (186)	7
		10台未満	6 (76)	3 (38)	3 (33)	2 (24)	14 (171)	12
		10台以上	4 (69)	2 (31)	2 (34)	3 (48)	11 (182)	16
		15台未満	4 (106)	2 (60)	2 (44)	3 (74)	12 (284)	23
		15台以上	5 (151)	2	2	3	12 (151)	37
		20台未満	4 (133)				4 (133)	66
		20台以上	2				2	
		30台未満						
		30台以上						
	50台未満							
50台以上								

※立体駐車場の箇所当たり利用可能台数は、約120台～約1,000台



(2)調査方法

立体駐車場：時間帯別に入出庫台数をカウント、待ち行列が発生した場合は、入庫待ち台数をカウント
平面駐車場：1時間に1回、対象駐車場における駐車台数（瞬間値）をカウント（満空率）

(3)調査日時

平日：令和元年11月19日（火）

休日：令和元年11月24日（日）

調査時間：平休とも7時～20時（13時間）

2. 調査結果概要

(1) 満空率

- 時間貸駐車場全体における日平均満空率は、平日・休日ともに概ね 60%程度であった。ピーク時には、概ね 80%程度となっている。
- 立体駐車場においては、特に休日のピーク時にはほぼ 100%稼働しており、駐車場によっては待ち行列も発生している。
- 平面駐車場においても、休日のピーク時には 90%近い稼働状況となっている。

表 時間貸し駐車場満空率一覧

地区名	調査日	地区全体			立体駐車場			平面駐車場		
		利用可能台数	日平均満空率(%)	ピーク時(%)	利用可能台数	日平均満空率(%)	ピーク時(%)	利用可能台数	日平均満空率(%)	ピーク時(%)
A. 通町筋・桜町地区	平日	12,900	53.9	67.9	9,926	53.8	68.1	2,974	54.6	67.0
	休日		63.0	86.5		64.0	87.2		57.6	84.2
B. 新町・古町地区	平日	592	61.8	75.5				592	61.8	75.5
	休日		44.0	58.9					44.0	58.9
C. 新町・古町地区	平日	803	68.3	89.6				603	68.3	89.6
	休日		54.1	72.3					54.1	72.3
D. 熊本駅周辺地区	平日	1,676	66.0	81.2	811	65.3	81.6	865	67.5	81.3
	休日		85.5	94.9		90.4	100.0		65.7	89.2
調査対象地区	平日	15,971	56.0	70.3	10,937	55.1	69.6	5,034	59.6	73.0
	休日		65.2	86.5		67.0	88.6		57.4	81.0
現駐車場整備地区	平日	13,725	54.2	68.3	9,926	53.8	68.1	3,799	56.3	69.1
	休日		62.2	85.2		64.0	87.2		53.7	76.6

(2) 入庫待ち発生状況

駐車場の入庫待ちが発生した台数を以下に示す。なお、いずれも休日のみ発生しており、平日については入庫待ちは発生していない。

表 入庫待ち発生台数

A. 通町筋・桜町地区①

9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台
34	71	83	147	139	109	83	24	8

A. 通町筋・桜町地区②

11時台	12時台	13時台	14時台
7	18	16	7

A. 通町筋・桜町地区③

9時台	10時台	11時台	12時台	13時台
3	6	3	5	6

D. 熊本駅周辺地区

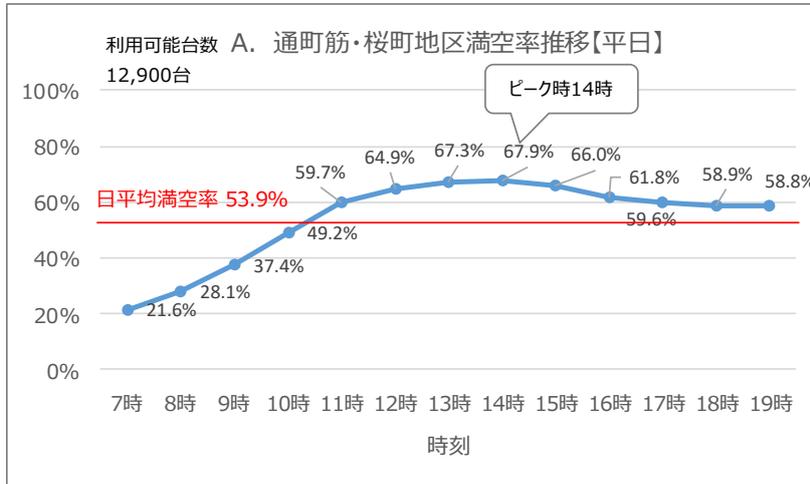
10時台	11時台	12時台	13時台	14時台
7	10	8	6	1

※台数は、1時間のうち最大の待ち台数を示す。

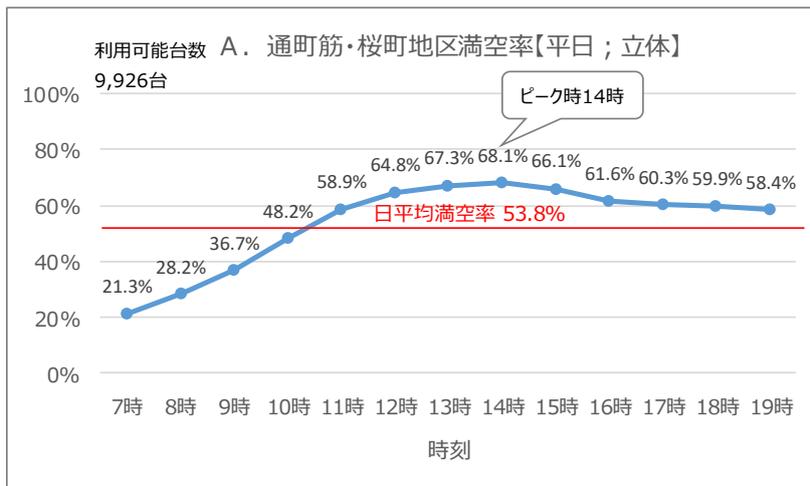
A. 通町筋・桜町地区

【平日】

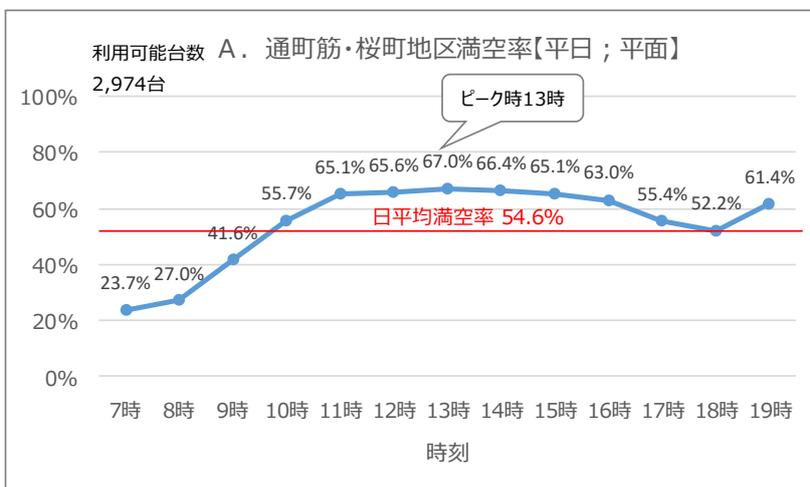
◆地区全体



◆立体のみ

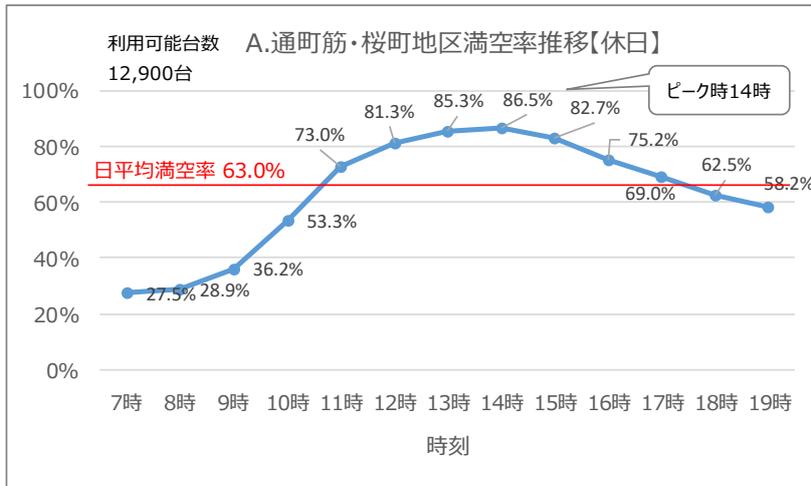


◆平面のみ

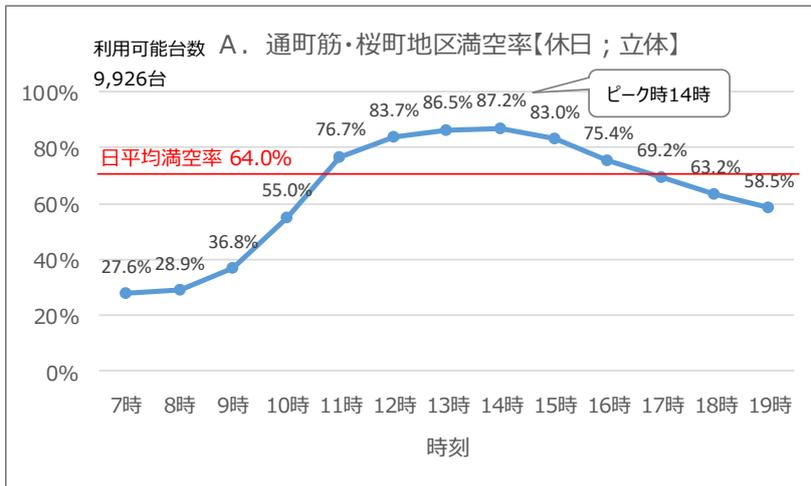


【休日】

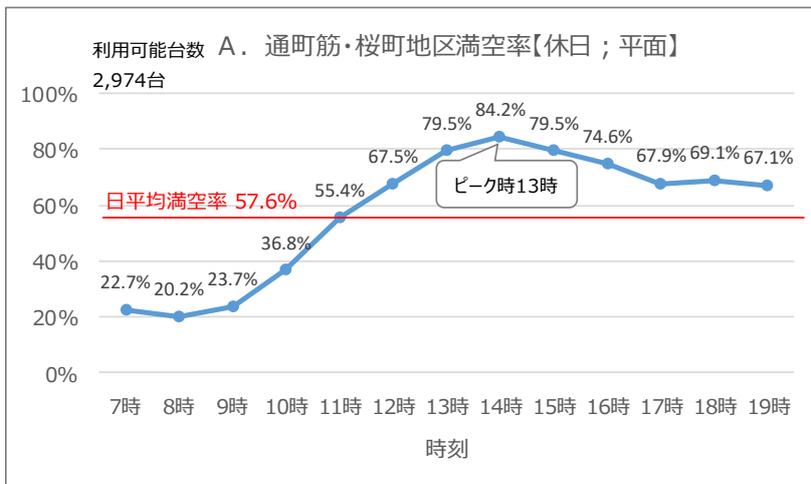
◆地区全体



◆立体のみ



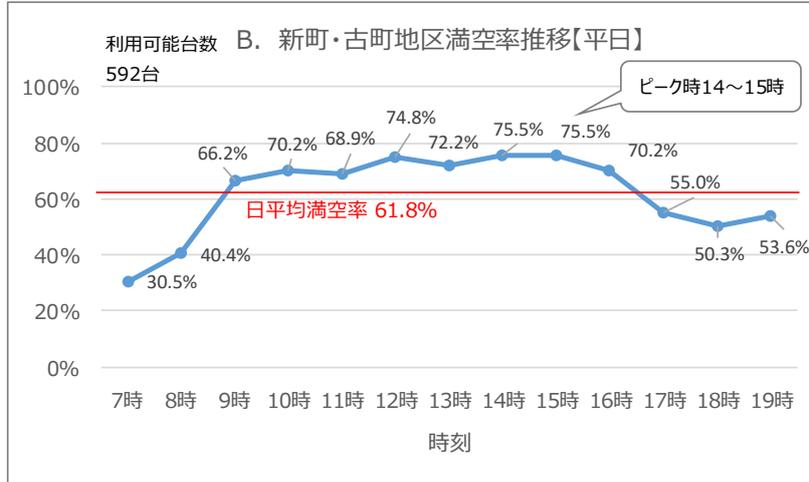
◆平面のみ



B. 新町・古町地区

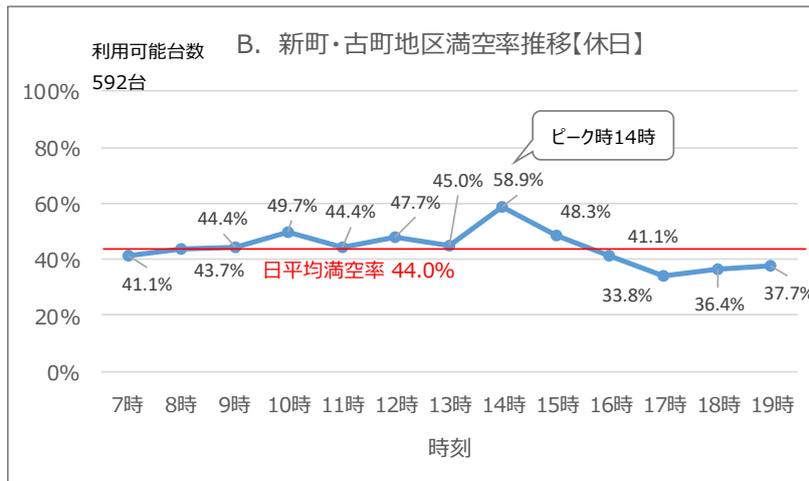
【平日】

◆地区全体



【休日】

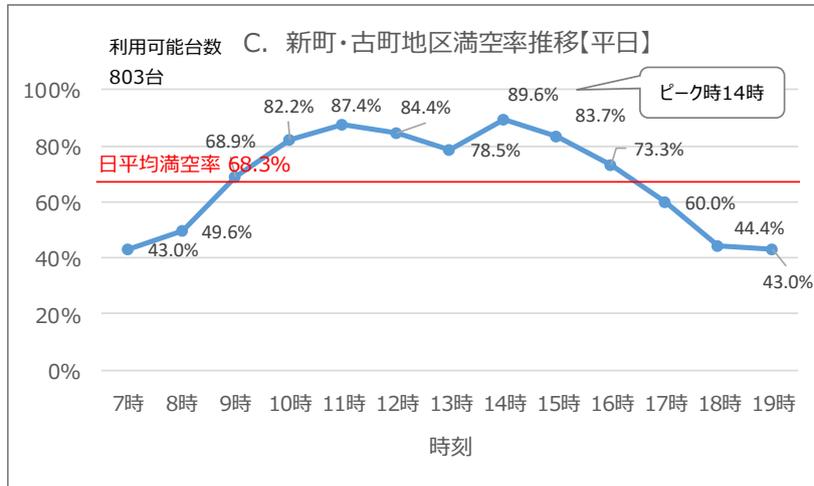
◆地区全体



C. 新町・古町地区

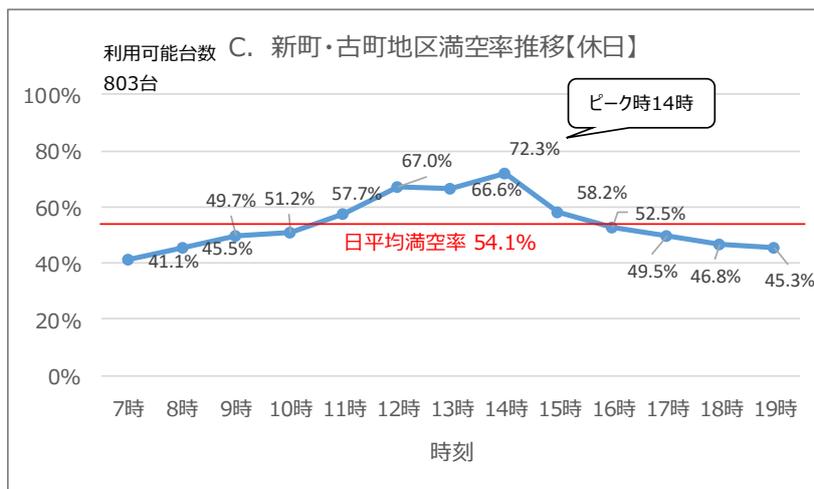
【平日】

◆地区全体



【休日】

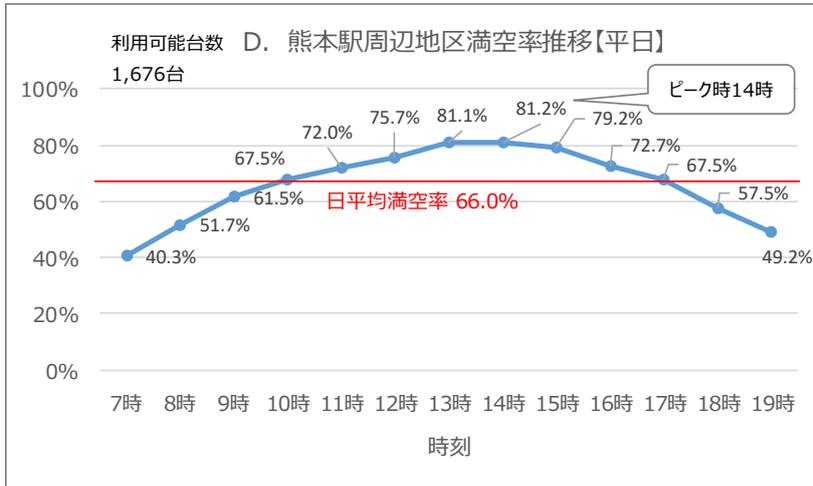
◆地区全体



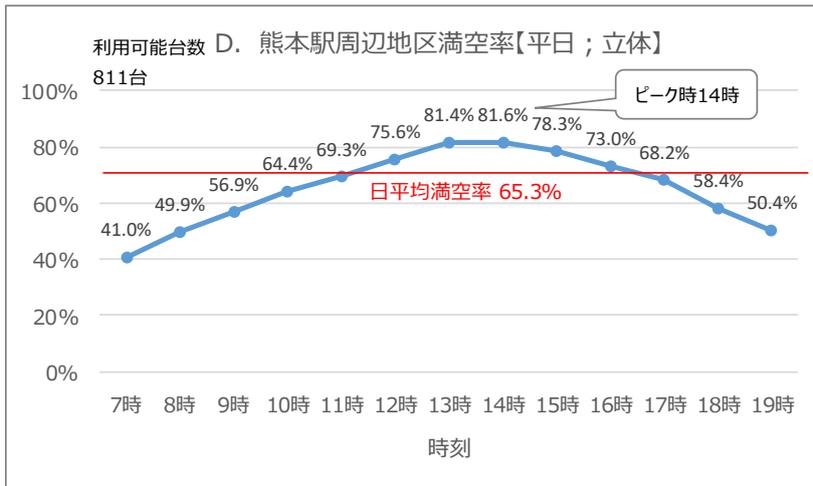
D. 熊本駅周辺地区

【平日】

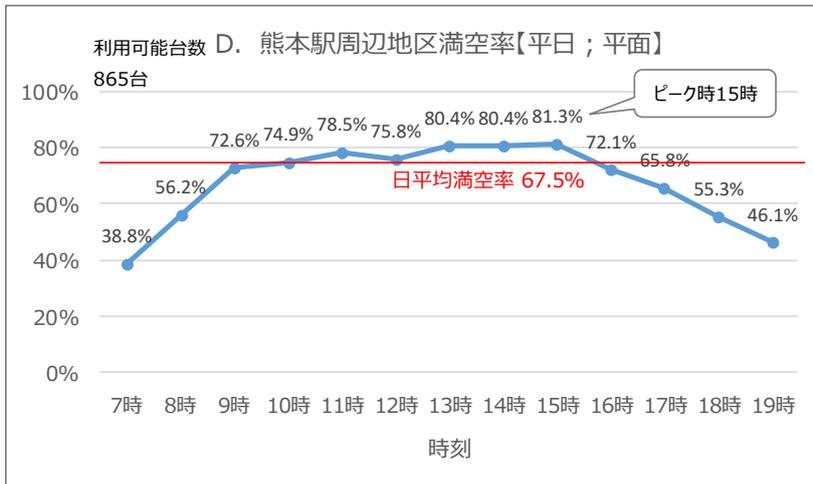
◆地区全体



◆立体のみ

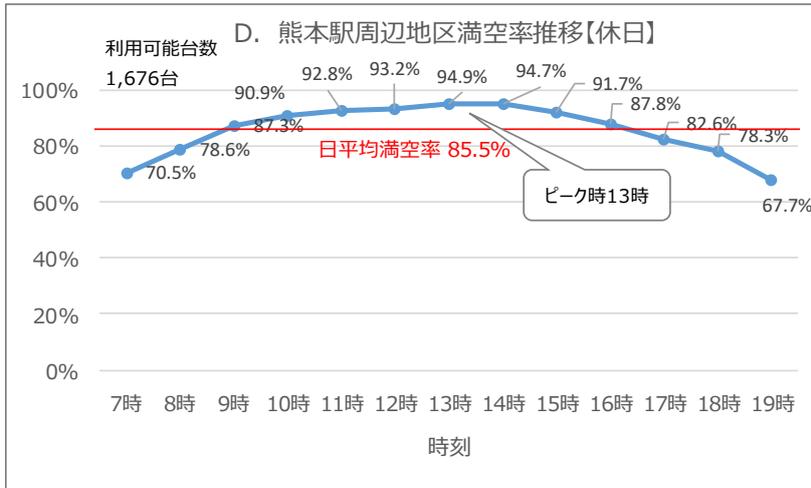


◆平面のみ

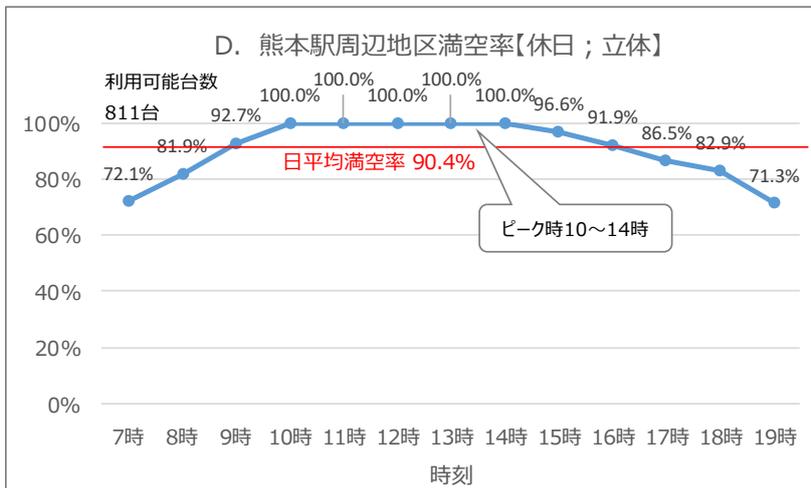


【休日】

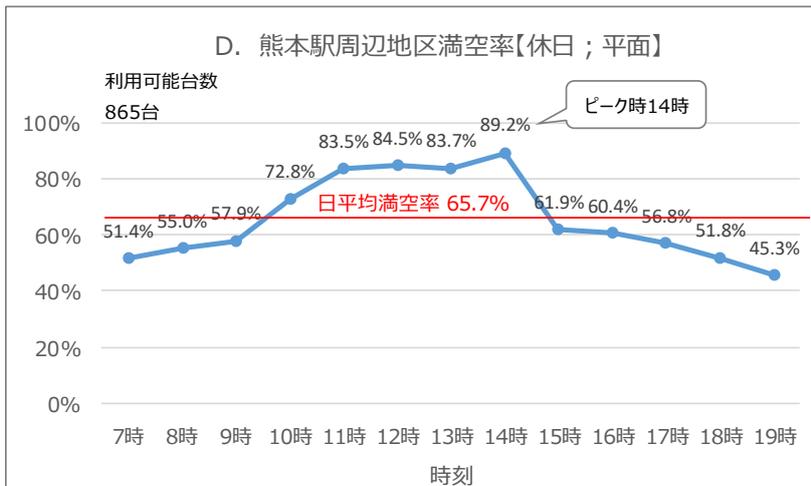
◆地区全体



◆立体のみ



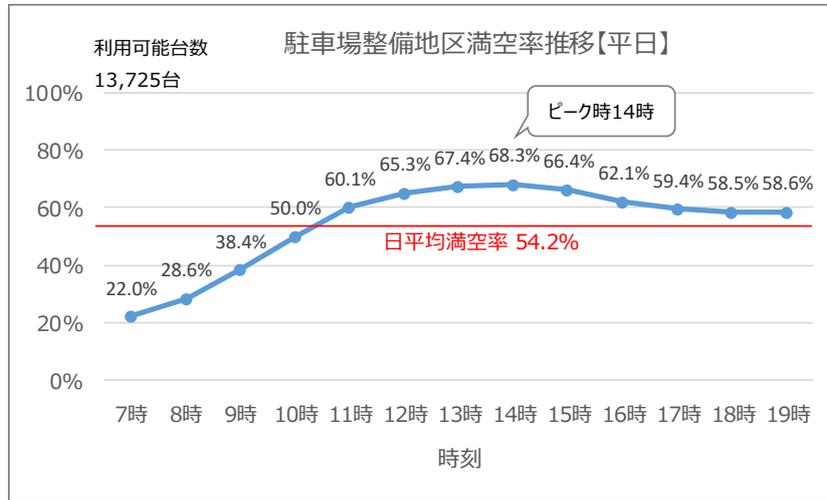
◆平面のみ



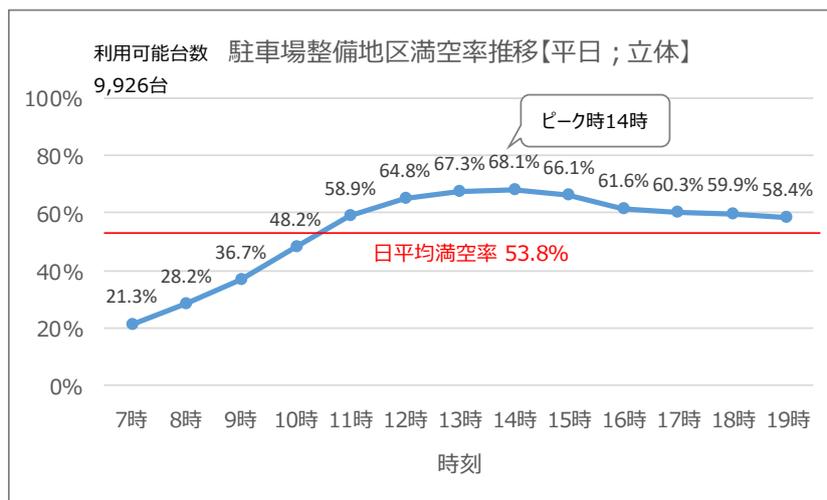
現駐車場整備地区

【平日】

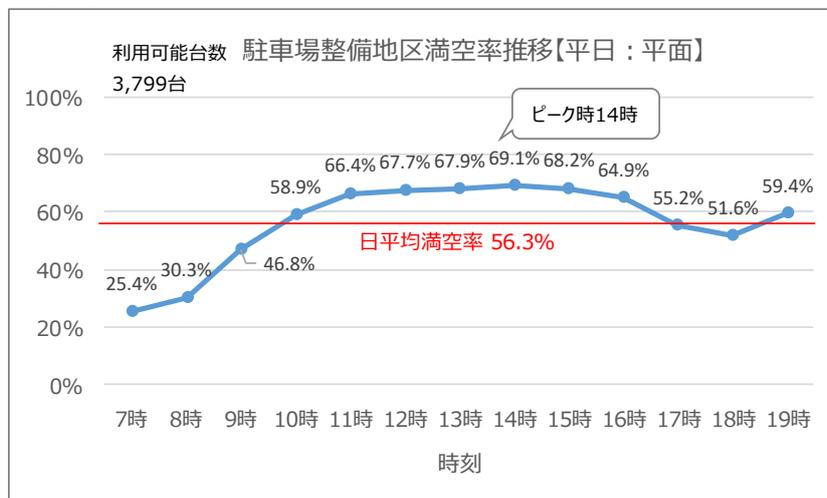
◆地区全体



◆立体のみ

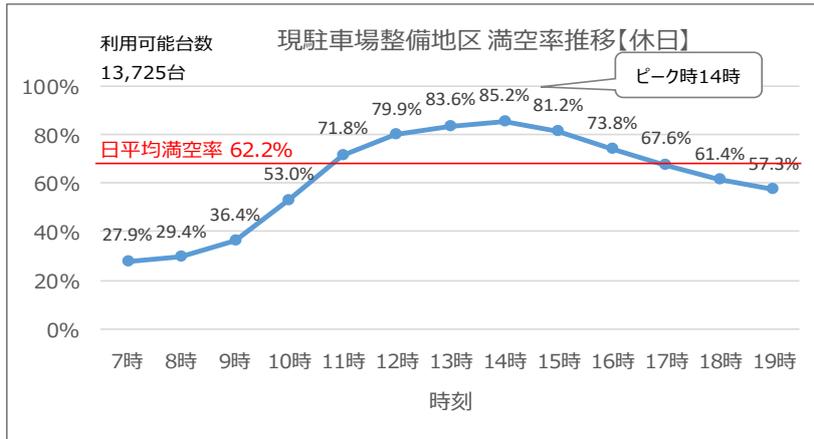


◆平面のみ

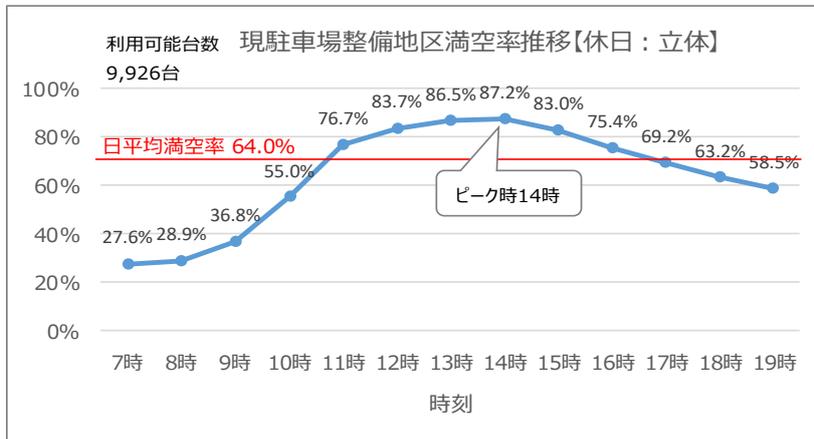


【休日】

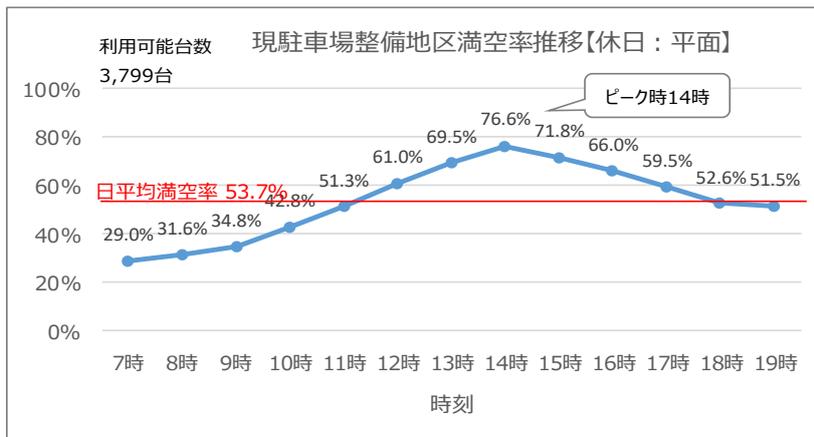
◆地区全体



◆立体のみ



◆平面のみ



Ⅲ. 平面駐車場地権者の意向調査

1. 調査概要

平面駐車場（約 700 箇所）の地権者から、無作為にて抽出した 200 箇所の地権者に対し、郵送配布・回収によるアンケート調査を実施した。

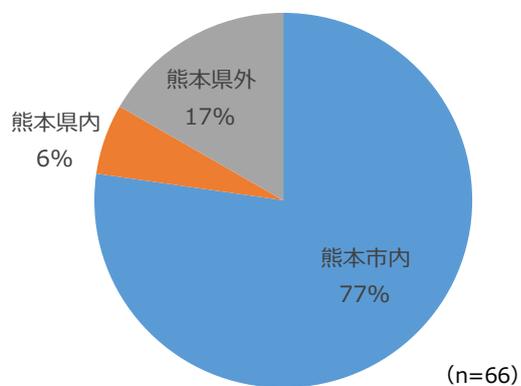
発送数 200 票に対し、回収票は 66 票（回収率 33%）であった。

2. 調査結果

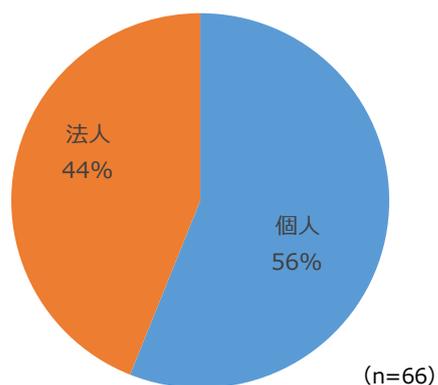
- 地権者の年代は 60 歳以上が 83%を占める。年代に伴って無職の方が半数以上を占める。
- 直近 10 年間の間に整備された駐車場が半数以上を占める。
- 駐車場として保有している理由として、「駐車場として活用することにより収益を得たい」が最も多く、ビル建設などの高度利用への意欲は低い。
- 土地の有効活用（高度利用）が困難な理由は、土地が狭小であることによることが半数を占める。
- 支援策については、金銭的な支援を望む傾向にある。

設問 1：回答者属性

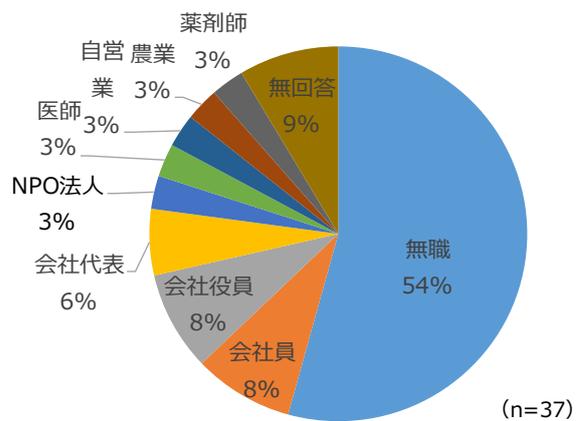
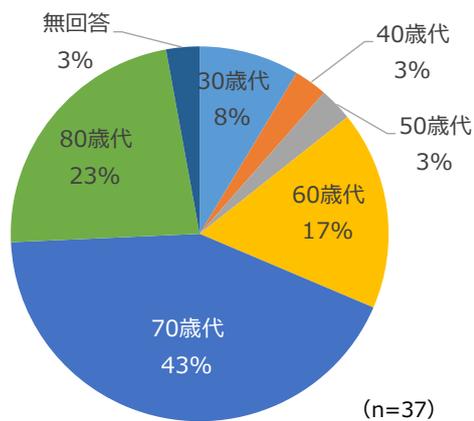
●住所



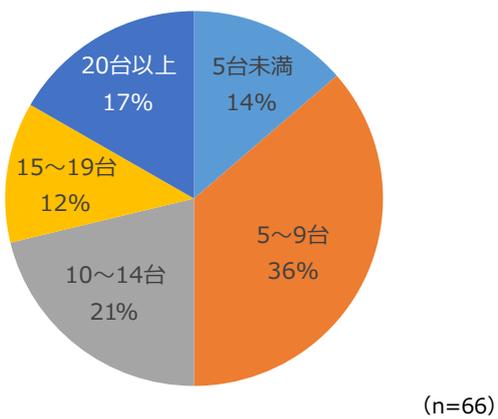
●所有者



●年齢・職業（個人地権者のみ）

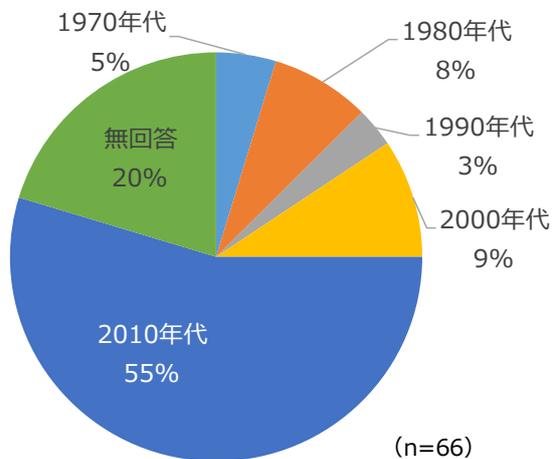


●保有している駐車場規模（台数）

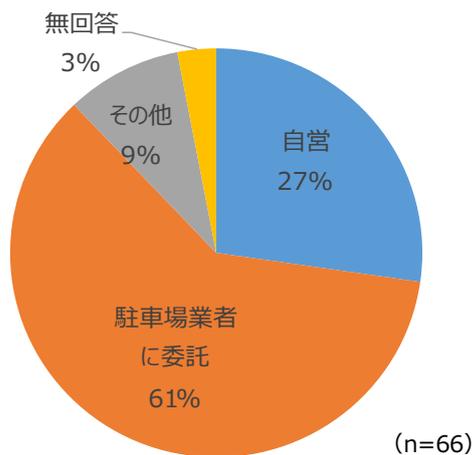


設問 2-1 保有している駐車場について

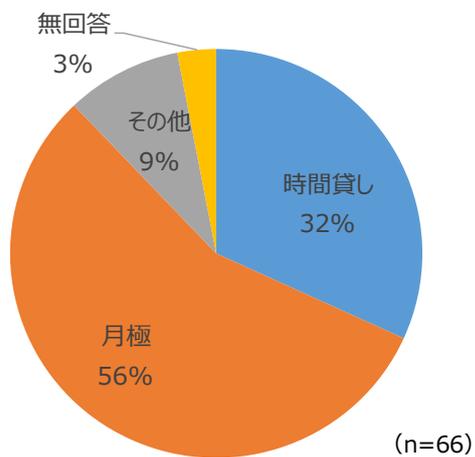
● 駐車場を整備した年



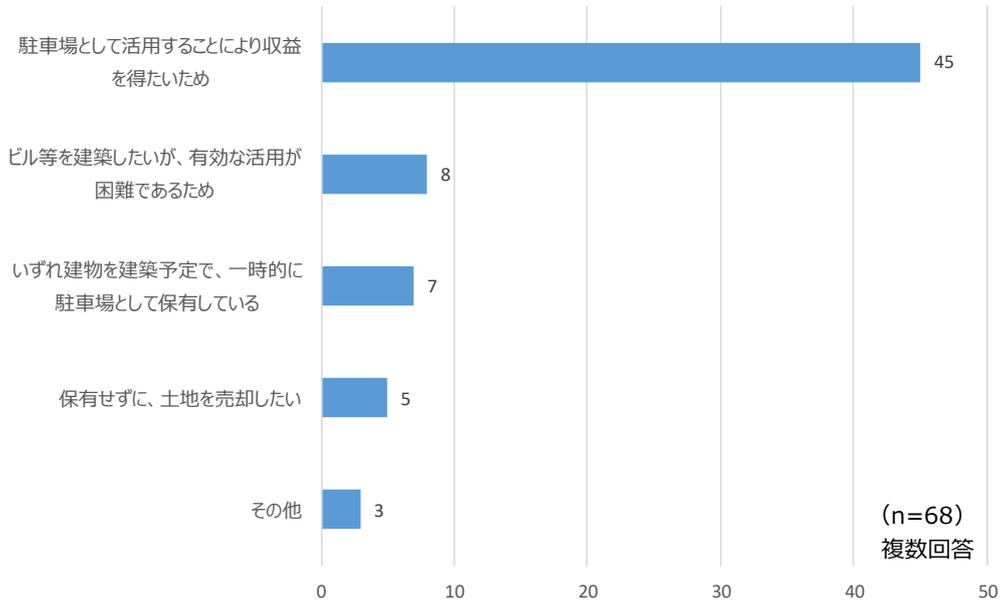
● 管理・運営



● 運営形態



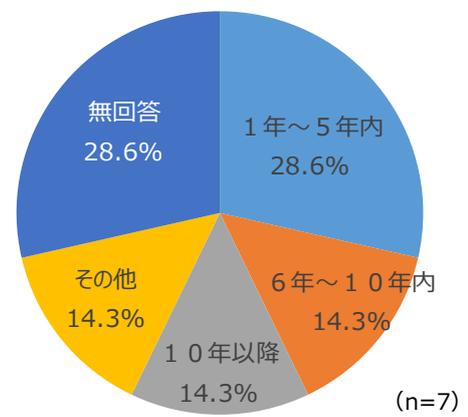
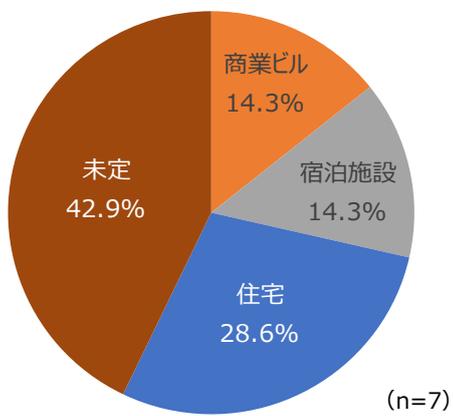
設問 2-2 当該土地を駐車場として保有している理由



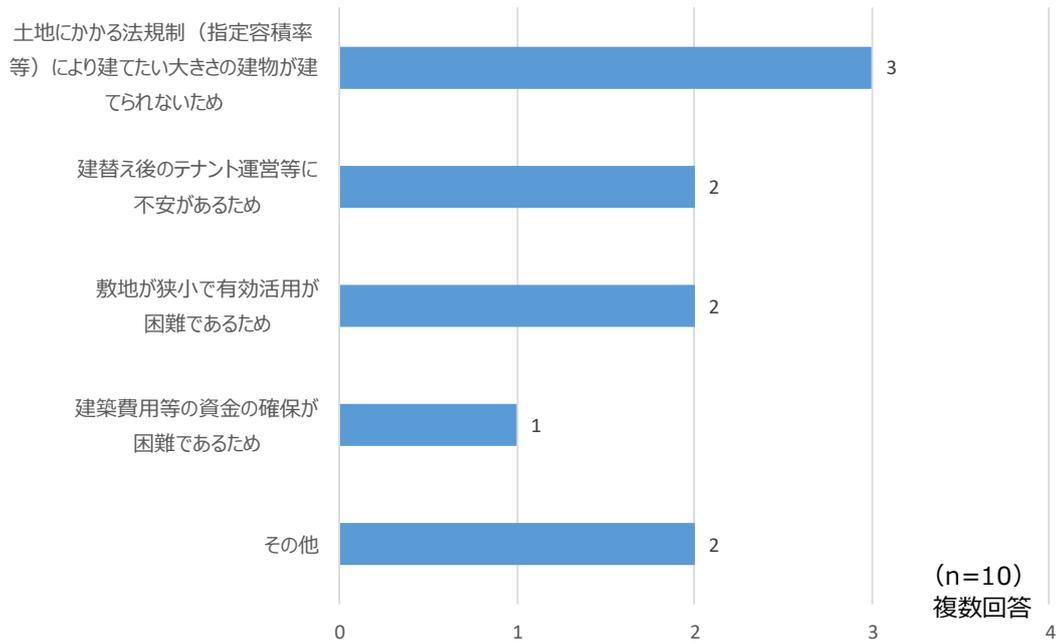
●「いずれ建物を建築予定で、一時的に駐車場として保有している」

(建築予定の建物種類)

(建設予定時期)



●「ビル等を建築したいが、「有効な活用が困難である」理由

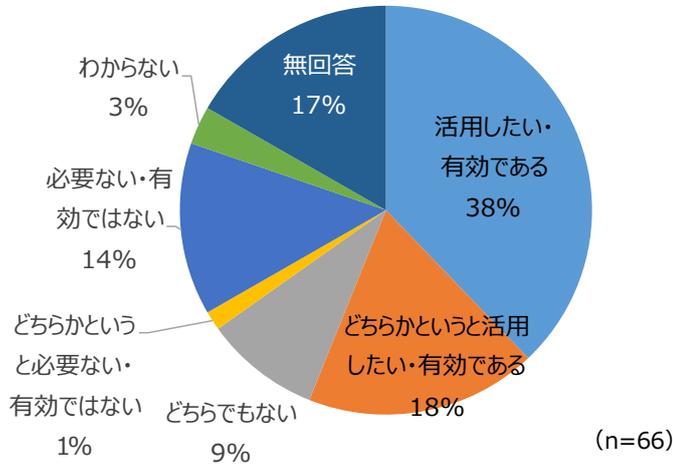


(その他) ・建築費の高騰

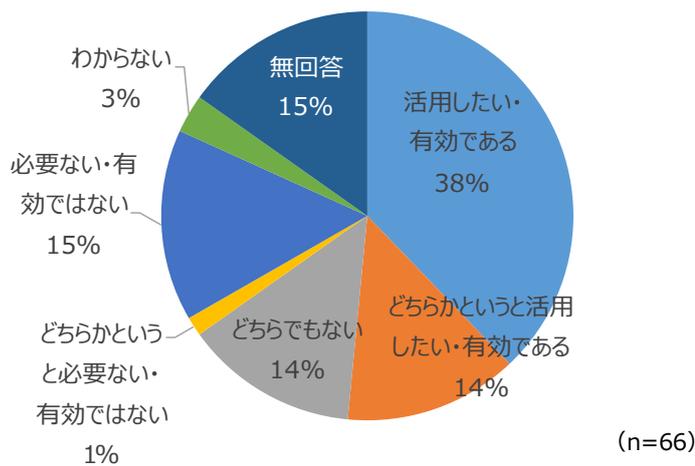
・遺跡調査をする必要があり、建築困難

設問 3 土地の有効活用促進のために「活用したい」「有効である」と思われる支援策

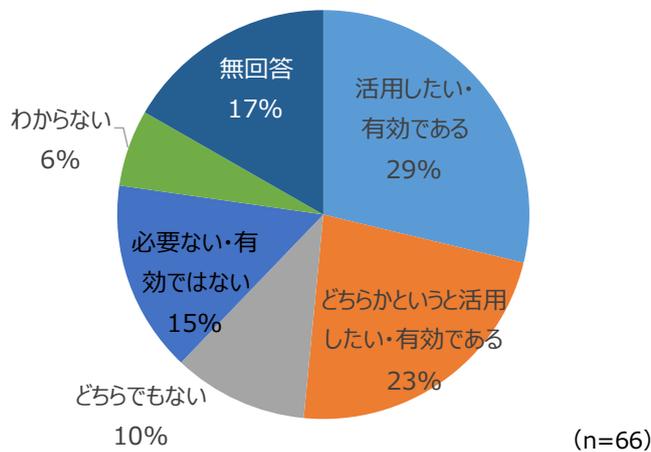
① 建築に必要な費用に対する助成



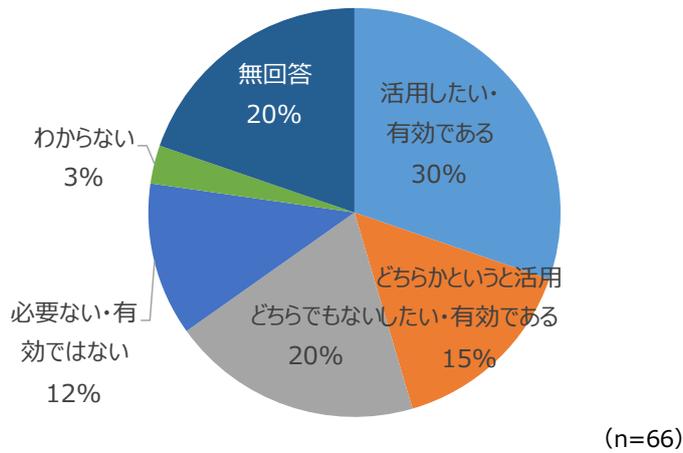
② 建築に必要な初期投資等に対する特別な融資



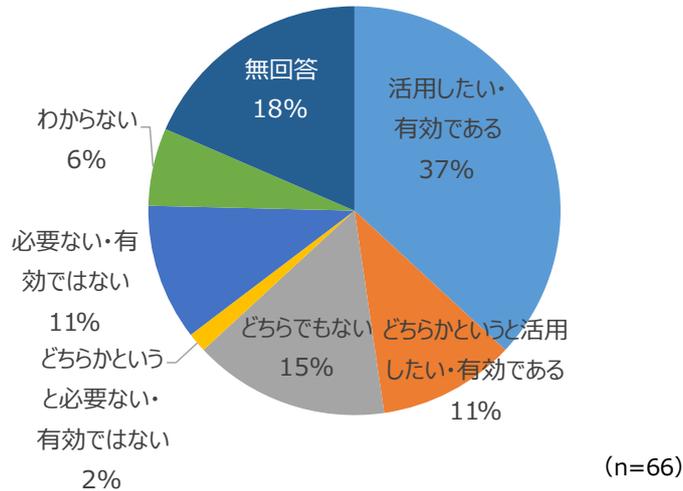
③ 隣接敷地を購入して統合する際の権利調整の手間や費用負担を軽減



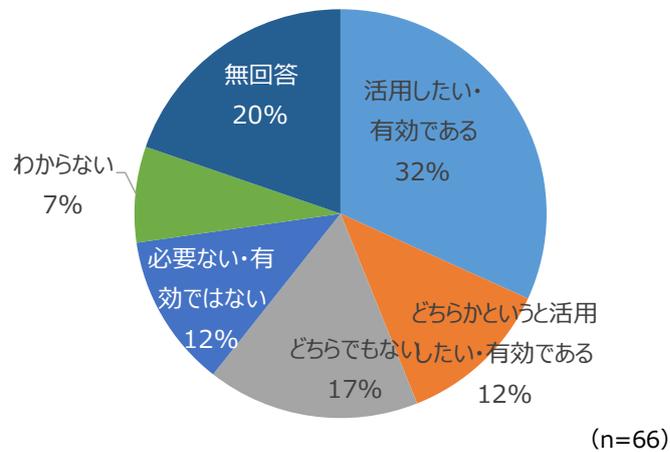
④ 狭小な土地を売却する際の権利調整の手間や費用負担を軽減



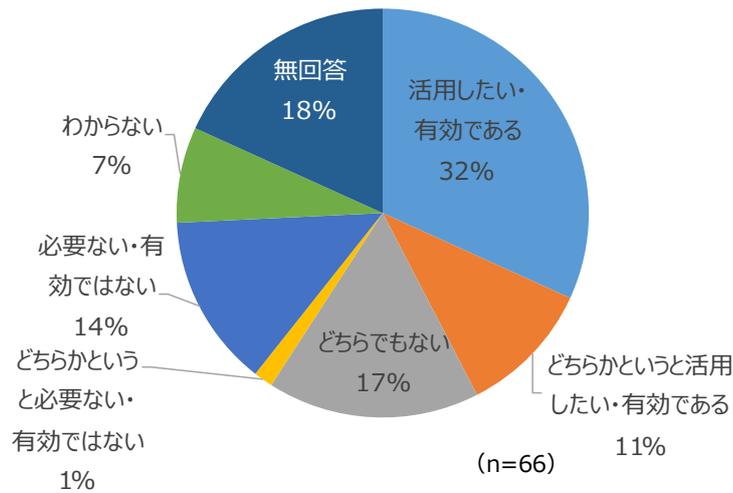
⑤ 指定容積率の割増し



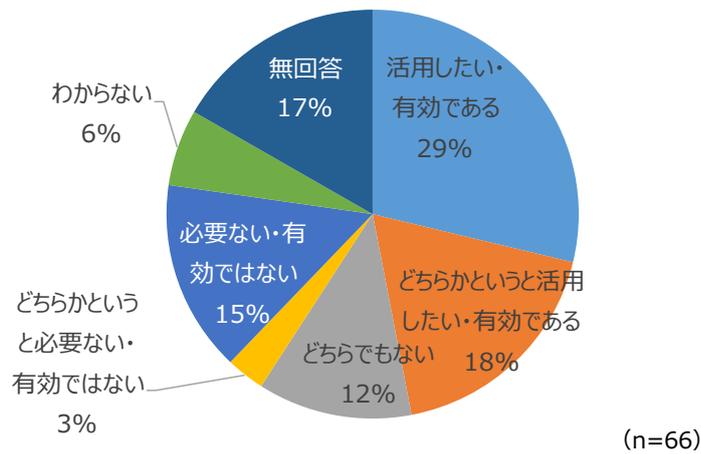
⑥ 前面の道路幅が狭いことにより受ける、容積率制限の緩和



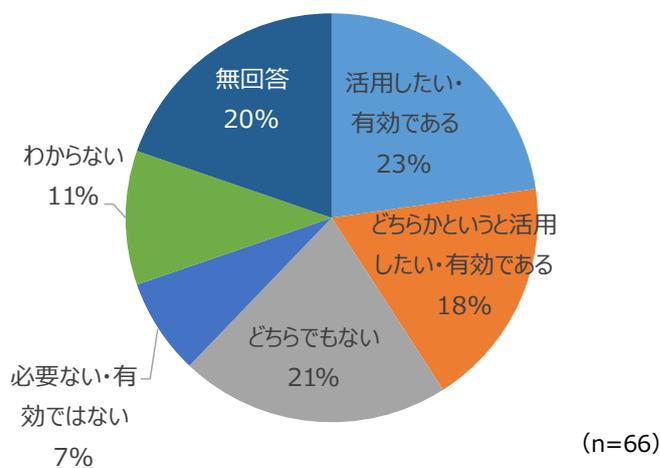
⑦ 前面の道路幅が狭いことにより受ける、道路斜線制限の緩和



⑧ 安定した収益を得られる事業計画や、テナント入居あっせん等を行うアドバイザー支援



⑨ 所有地周辺におけるまちづくり協議会等の設立（まちづくりビジョンの共有）



⑩ その他（1件）：景観法による高さ制限の撤廃

自由意見

ご指定の当該土地は既にアパートを建築し、同居居者向けの駐車場として使用している。
さくらまちバスターミナル近辺の開発につなげて坪井川のさらなる整備、中央郵便局近辺との統一、調和に向けて、緑と水の文化度の高い街づくりに期待しています。今年9月何十年ぶりかで訪熊しましたが、とても良い印象で帰京しました
熊本市は地震の影響もあり駐車場(特にコインパーク)が他都市に比べても異常に多い。ただホテルや賃貸マンションも続々と建っていて、また計画もあり、果たして経営がなりたつのか。ではそれ以外に何をすればいいのか。
現在ビルのテナント需要が低下している為、厳しい。又、建設費用が高い為、様子見です。
諸々の支援、アドバイスは地震後すみやかなタイミングで行われることが必要だったのでは…？古い町家保存など、要請もあったと記憶します。(市も余裕が無かったことは重々承知していますが)
将来の土地活用は未定なので駐車場として当面活用している。
駐車場として土地を有効活用していると思っています。借入等により建物建築は考えておりません。
長期間支援が有るのか？税金等はどうなるのか？などの詳しい説明が必要だと思います。
当該駐車場用地は、市の区画整理事業によって従前の居住地から変更所有となったもの。JR熊本駅新幹線側地域につき、市の主導による活性化プロジェクトを組成して収用を進めてもらってはどうか。現状では、せっかくの拡幅整備された道路も万日山の貫通トンネルも生かされていない。
売却したいですが、土地がせまいためうれません。
地震で全壊後、家を建てようと思っても資金がなく、空地又は駐車場等だと固定資産税だけが大きくなり(土地を売却の気はない)何とか売却しないで住んでいたいと思い、集合住宅にした。設問3-2に対して、もっと早く何らかの支援があれば集合ではなく家が建てられたかも？と思う

IV. 駐車場利用者聞き取り調査

1. 調査概要

駐車場利用者に対し、来街目的や駐車場選択理由など、利用実態に関する内容を直接ヒアリングにて調査を行った。

(1) 調査対象駐車場(全 20 箇所)

上段： 箇所数
下段： (利用可能台数)

	合 計		
		立体	平面
合 計	20 (3,252)	9 (2,900)	11 (352)
A. 通町筋・桜町地区	13 (2,591)	8 (2,370)	5 (221)
B. 新町・古町地区	2 (43)	—	2 (43)
C. 新町・古町地区	2 (34)	—	2 (34)
D. 熊本駅周辺地区	3 (584)	1 (530)	2 (54)
(参考) 箇所当たり利用可能台数	162	322※	32※

※立体駐車場の箇所当たり利用可能台数は、約120台～約700台
平面駐車場の箇所当たり利用可能台数は、約10台～約70台

(2) 調査日時

平日：令和元年 11 月 19 日 (火)

休日：令和元年 11 月 24 日 (日)

調査時間：平休とも 7 時～20 時 (13 時間)

(3) 取得サンプル数

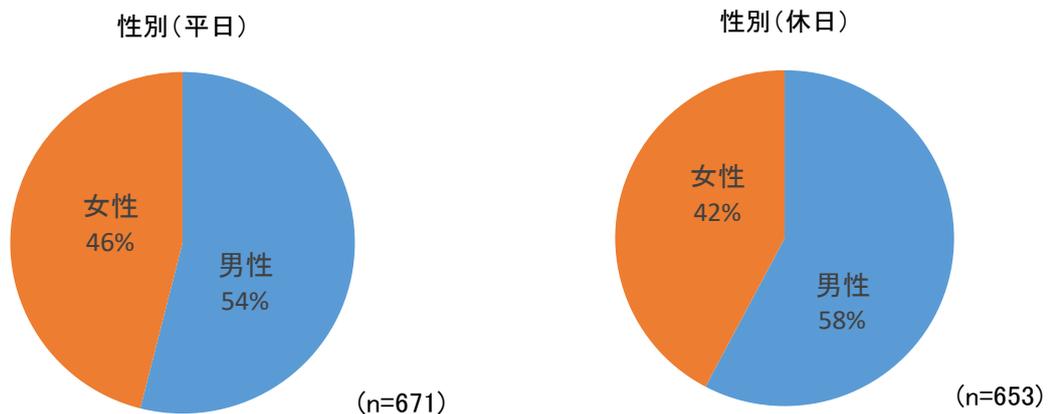
平日：671 票 休日：653 票

2. 調査結果概要

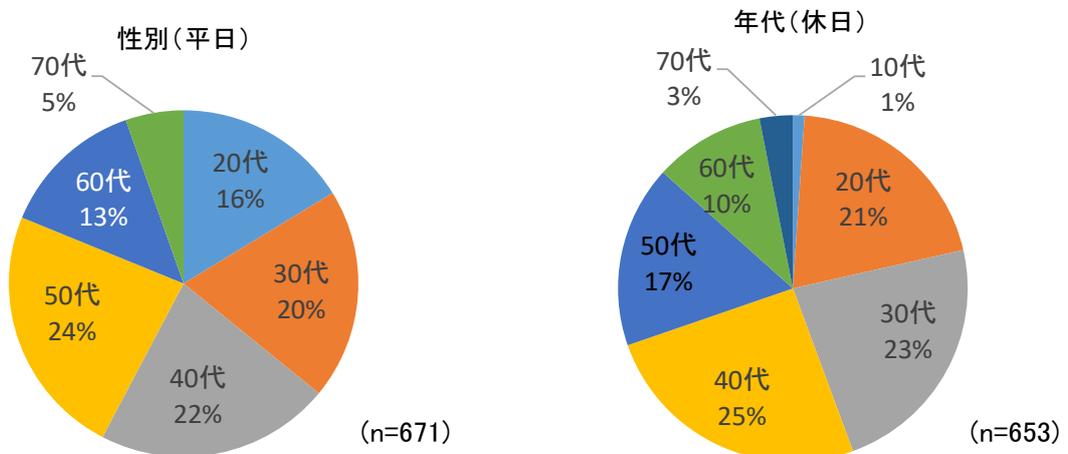
- 来街目的は、平日は通勤や業務先など業務関係が 55%を占め、休日は買物や娯楽などが 64%を占める。
- 駐車場から目的地まではほとんどが徒歩で移動し、目的地までの距離は平均約 300m 前後となっている。
- 駐車時間は、平日休日ともに、3 時間以下が約 5 割を占める。
- 駐車場の選択理由として、「目的地に近い」ことが 7 割以上を占める。
- 公共交通を利用しなかった理由として、「公共交通を利用しづらい」「公共交通を利用するのが面倒」が大半を占め、特に休日利用者の方が顕著である。

回答者属性

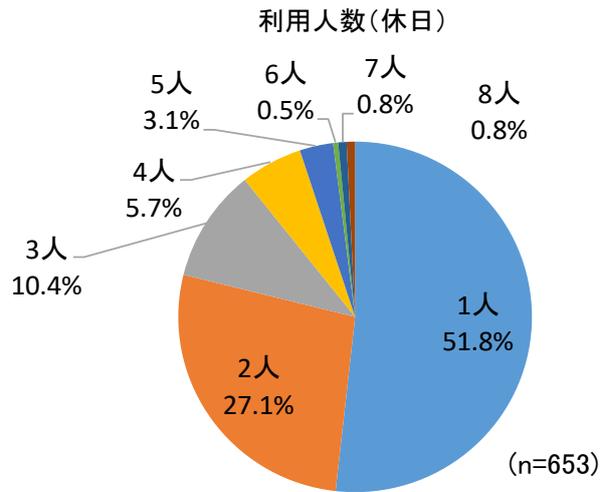
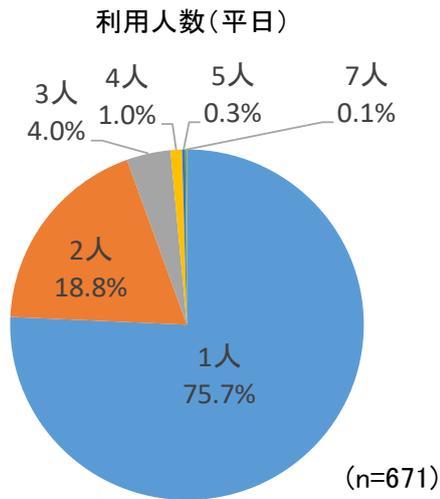
(1) 性別



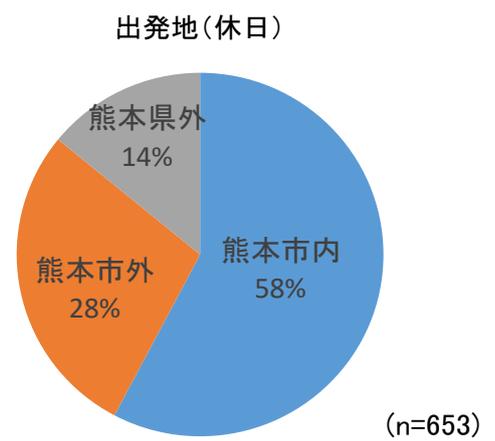
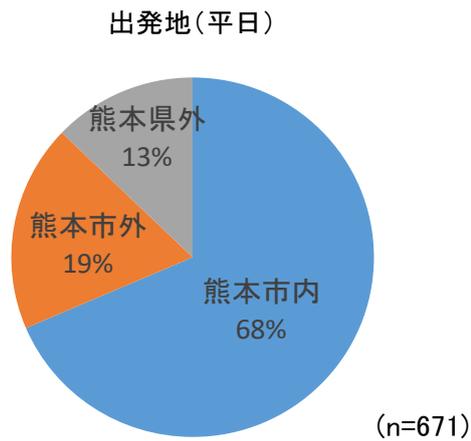
(2) 年代



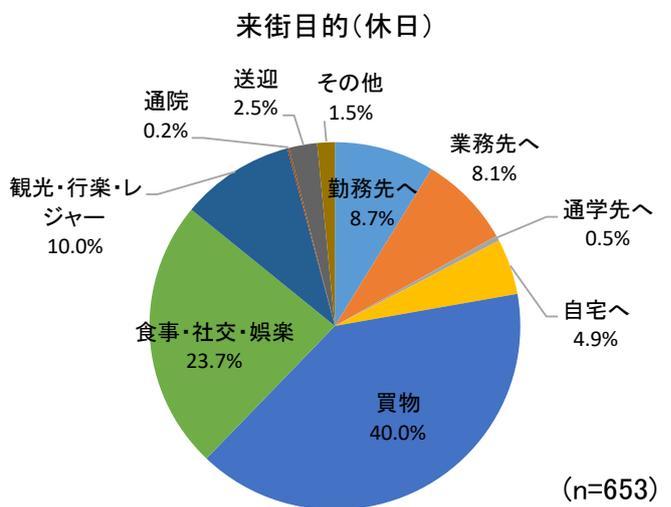
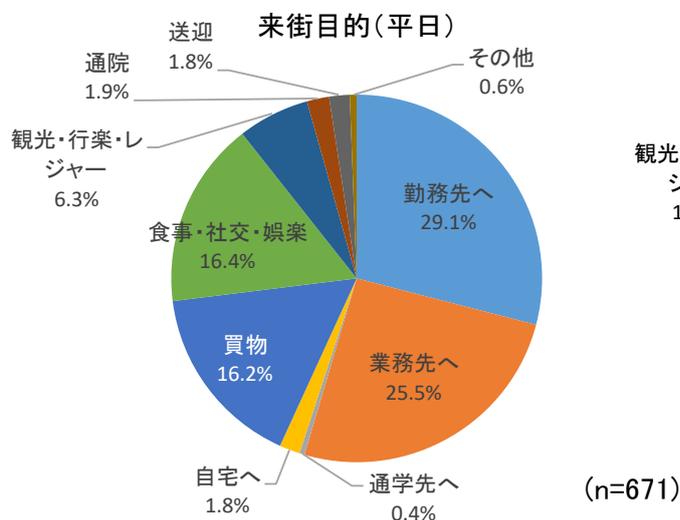
(3) 利用人数(同乗者数)



設問 1 出発地

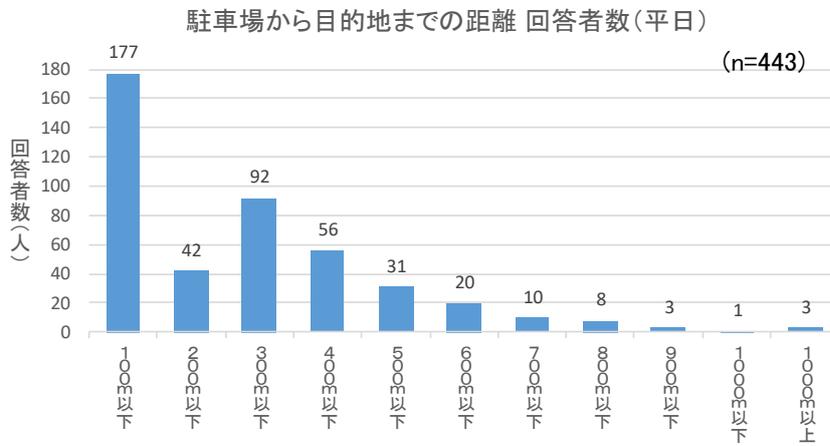
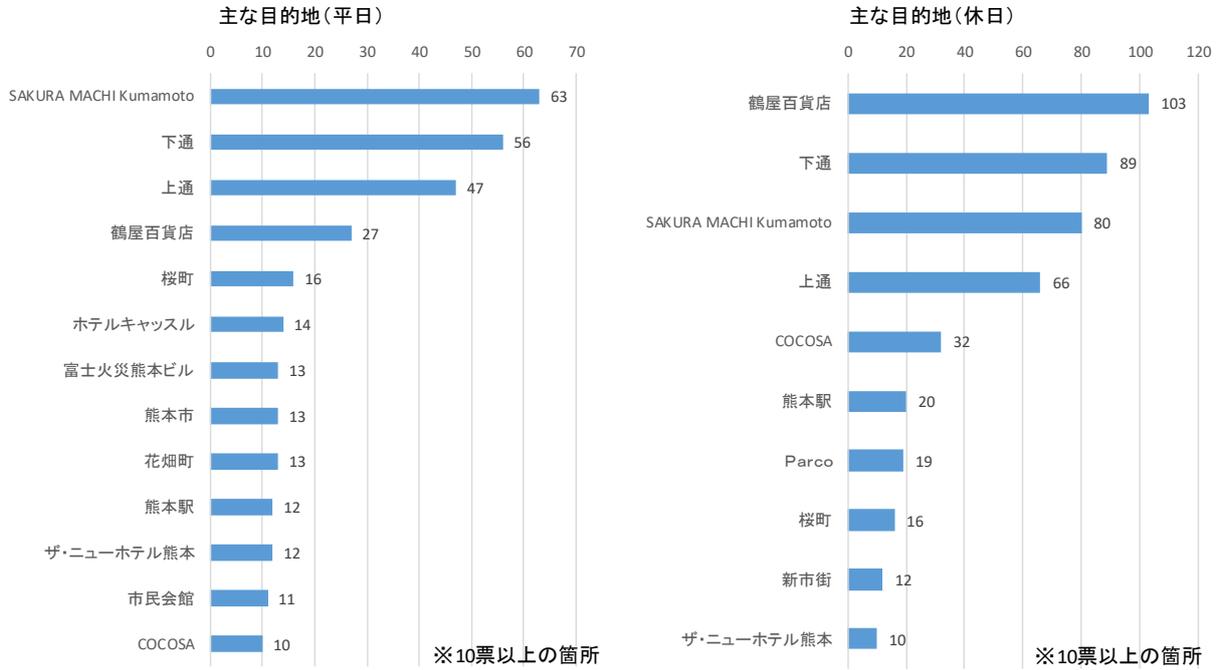


設問 2 来街目的

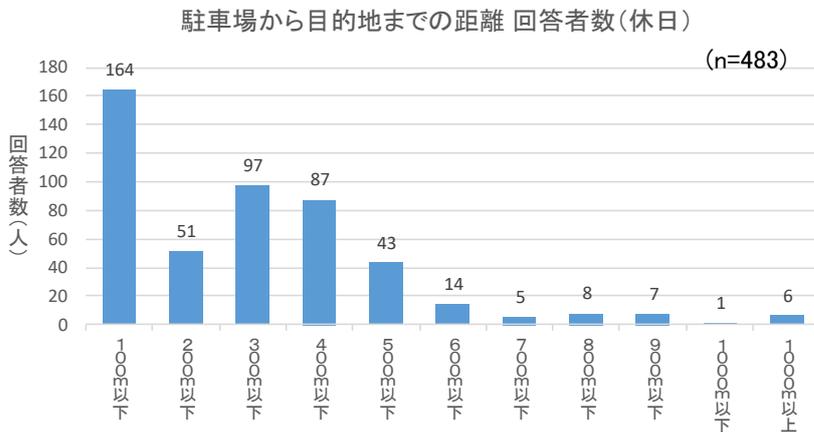


設問3 目的地と目的地までの移動手段

(1) 主な目的地と目的地までの距離



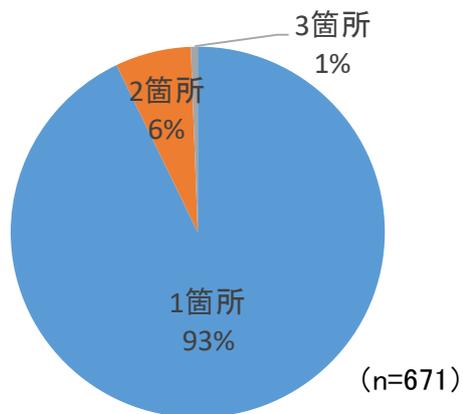
平均値：312m
中央値：268m



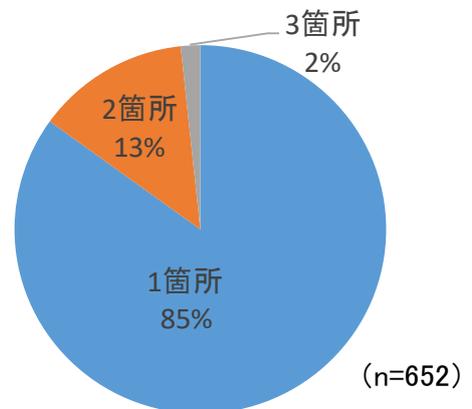
平均値：337m
中央値：277m

(2) 立ち寄り箇所数

立ち寄り箇所数(平日)

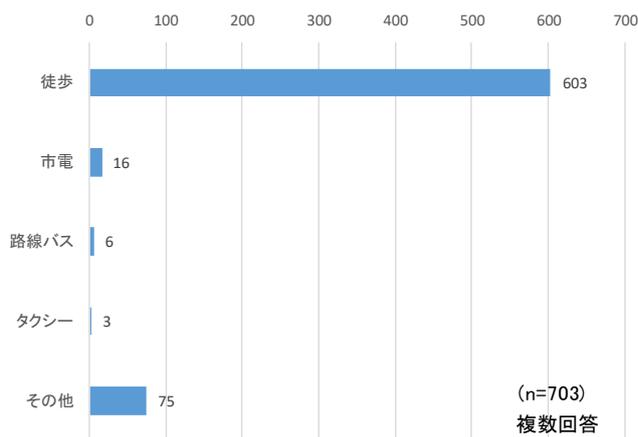


立ち寄り箇所数(休日)

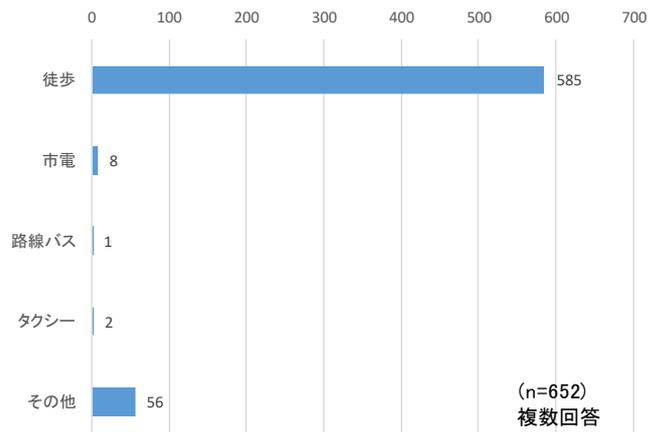


(3) 目的地までの移動手段

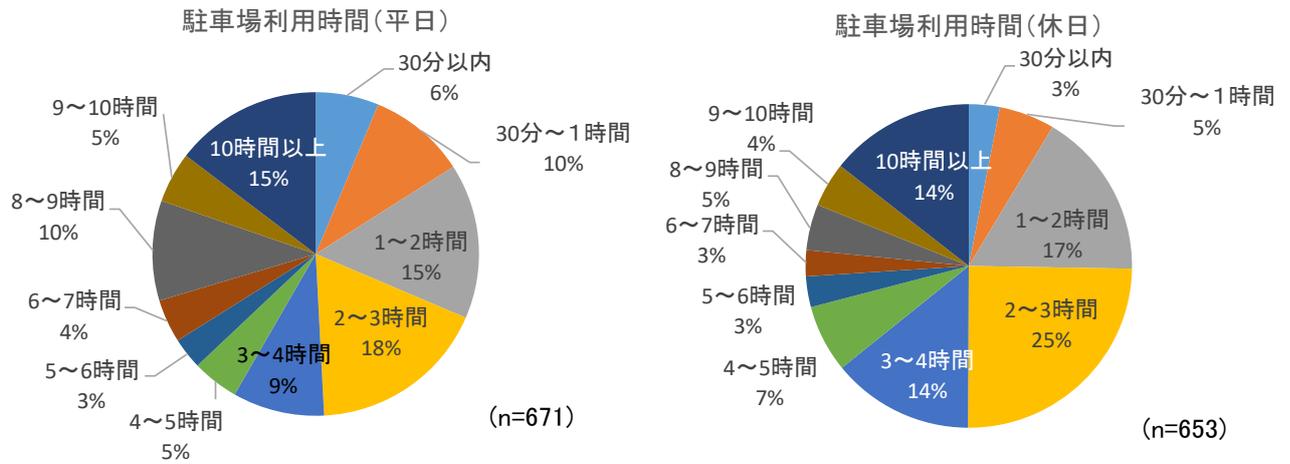
目的地までの移動手段(平日)



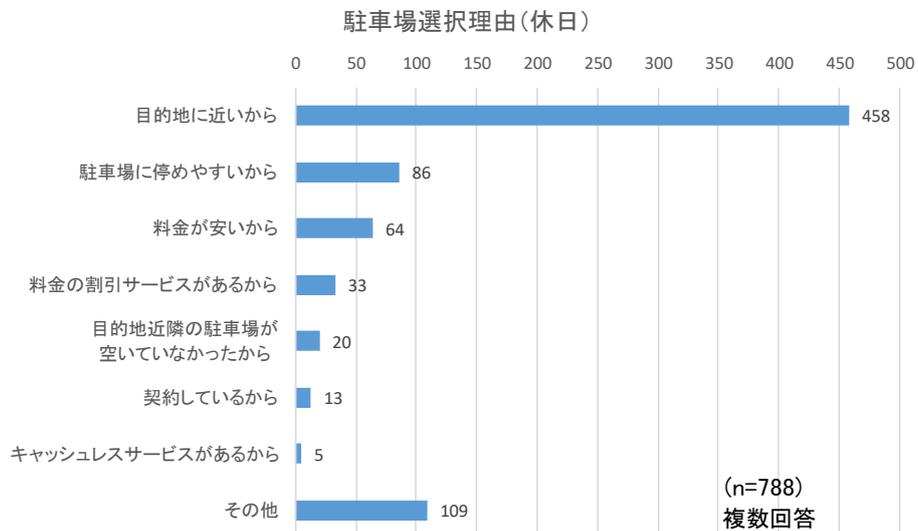
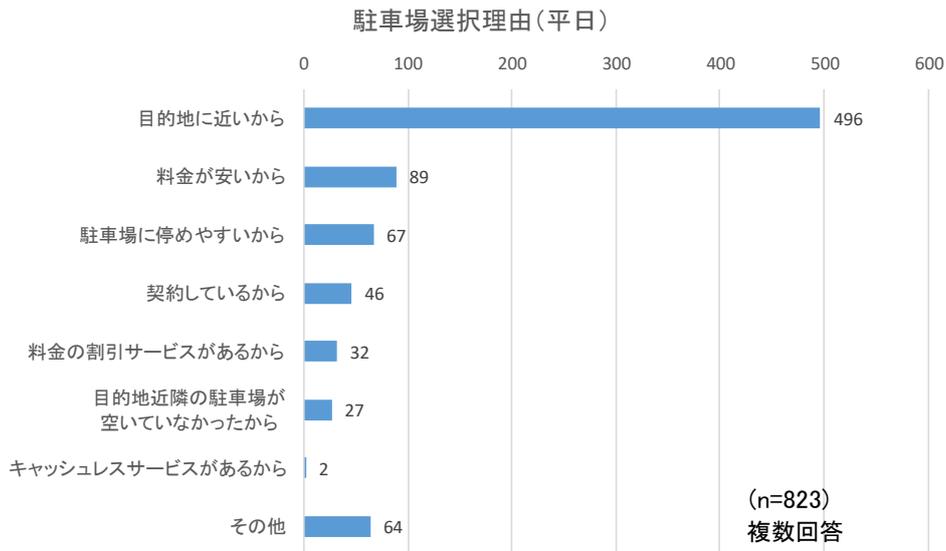
目的地までの移動手段(休日)



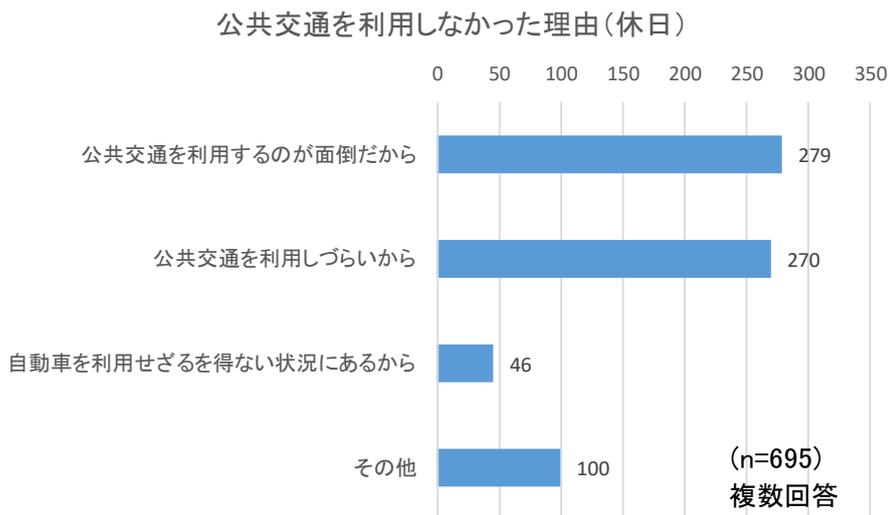
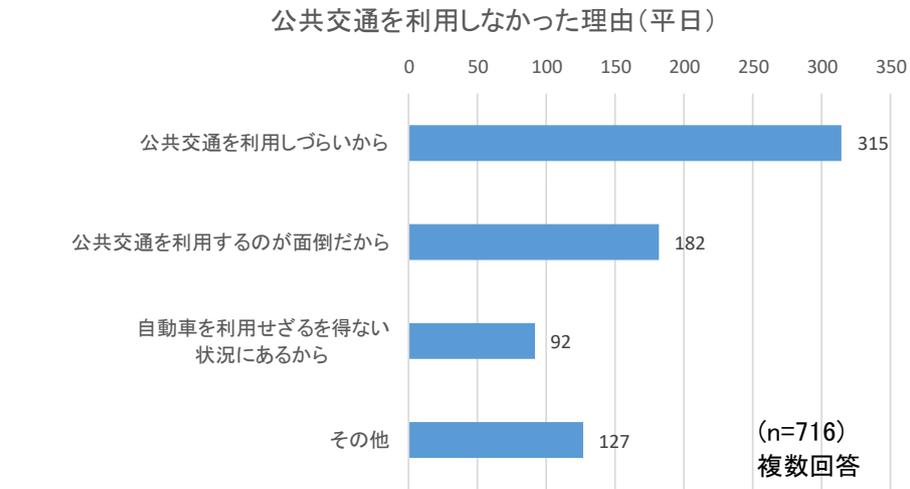
設問 4 駐車場利用時間



設問 5 駐車場の選択理由

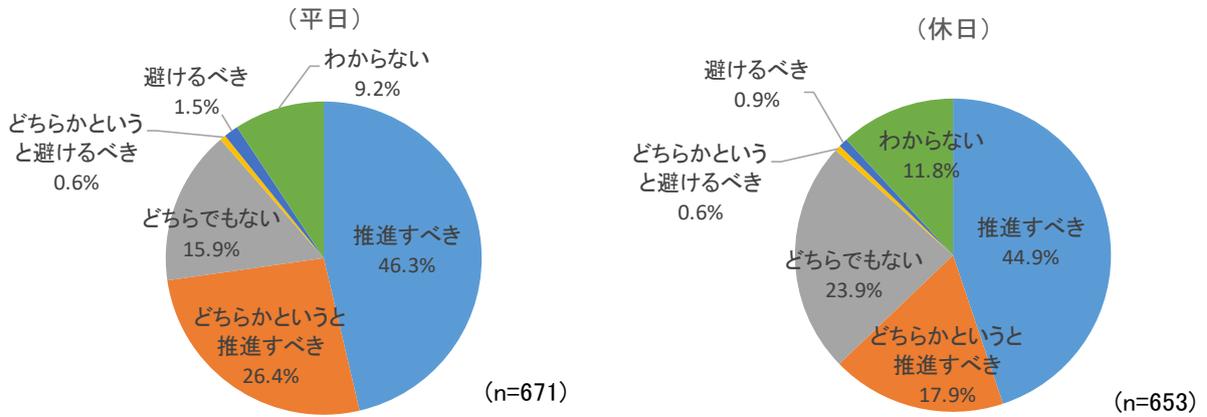


設問 6 公共交通を利用しなかった理由

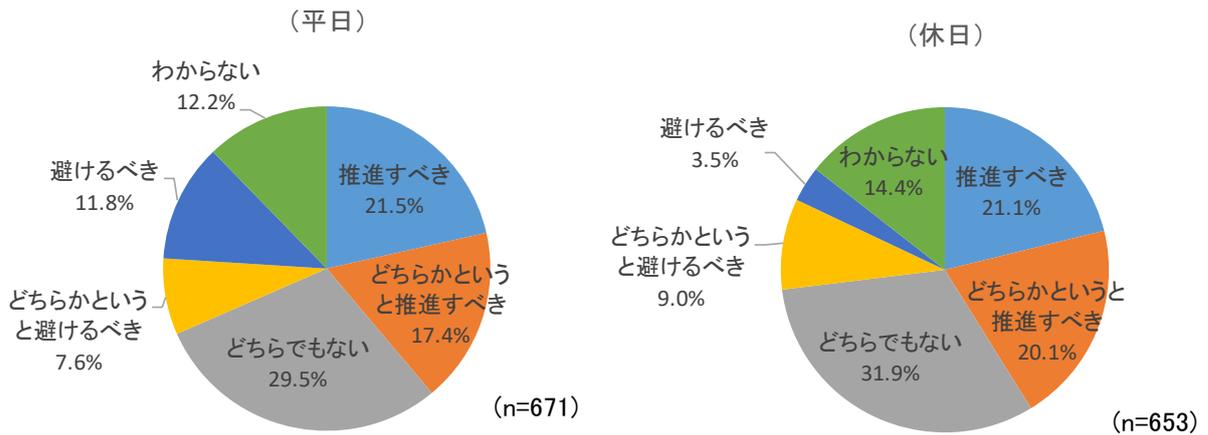


設問 7 駐車場に関して推進すべき取組内容

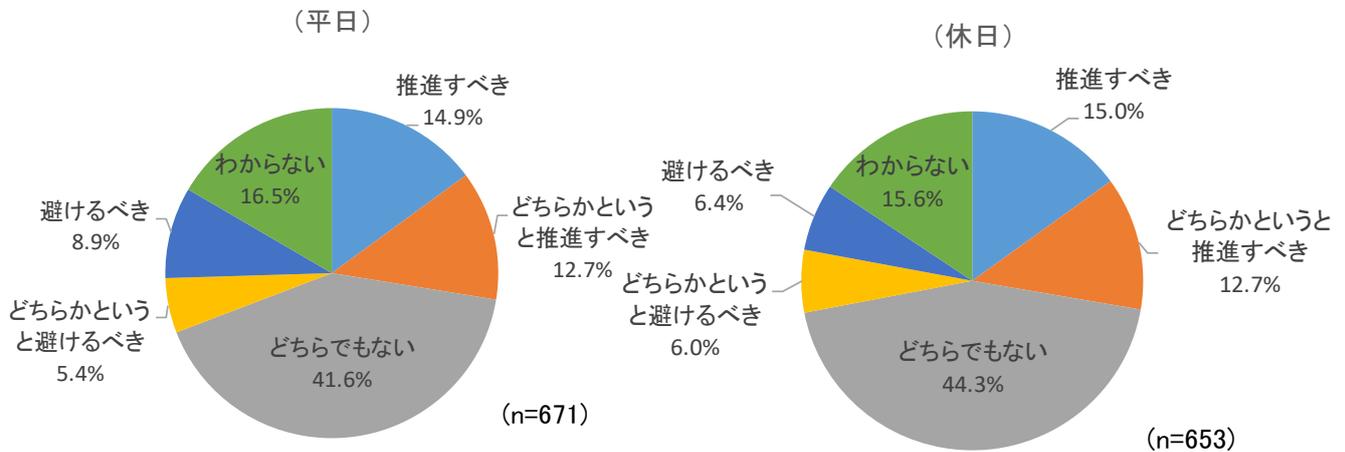
(1) 歩行者が多い道路等に面する駐車場は、歩行者の安全に配慮した駐車場の配置とする



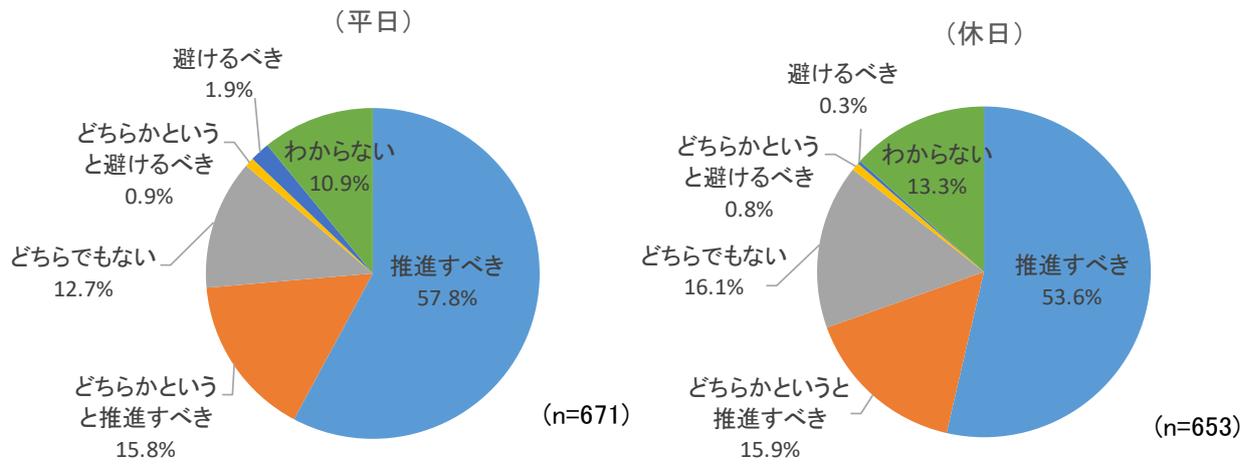
(2) 中心部の駐車場を周辺にある駐車場へ集約し、中心部への自動車の集中を緩和する



(3) 駐車場整備基準を見直し、建物の低層階にある駐車場をお店などに転換する



(4) 中心部のお店で買い物や食事をすると、どこの駐車場でも使える共通割引券をつくり、駐車場待ち渋滞を解消する



V. 附置義務事業者アンケート調査

1. 調査概要

附置義務により駐車場を設置している建物の所有者（社）及び建物内に入居しているテナント企業等に、荷さばき施設の有無や業務に必要な物品や商品等の納入状況について、郵送配布・回収によるアンケート調査を行った。

建物所有者（企業）：59 者（社） 配布 33 者（社） 回収 回収率 55.9%

テナント企業：134 者（社） 配布 64 者（社） 回収 回収率 47.8%

※建物所有者とテナント企業は、別の建物を対象として調査を行っている

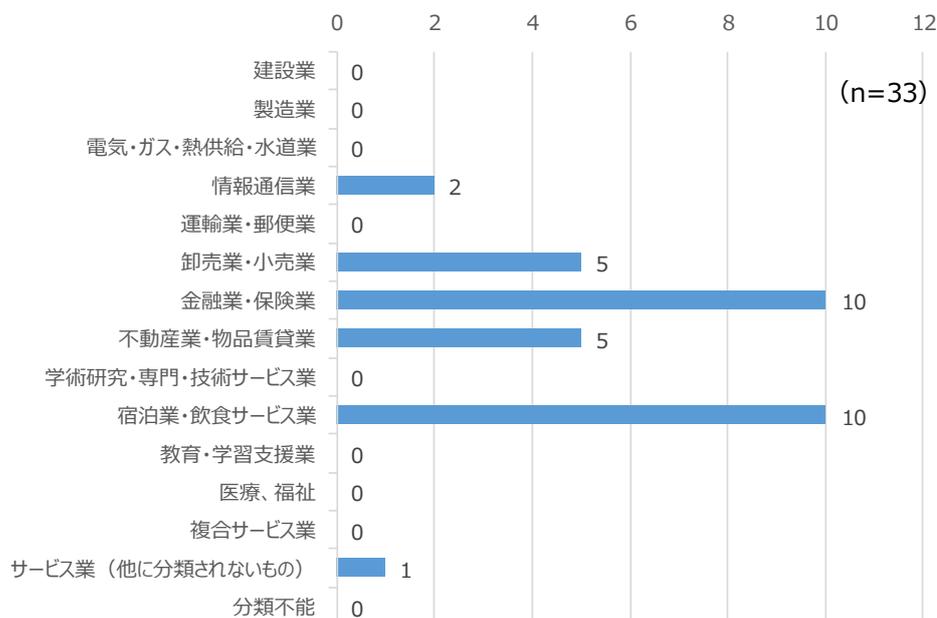
2. 調査結果概要

【建物所有者】

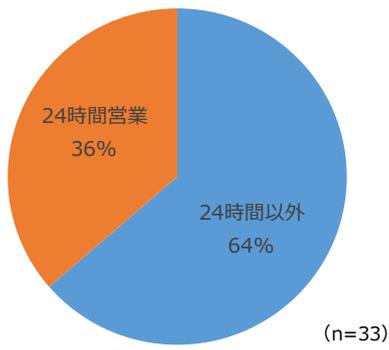
- 所有建物の約 6 割が荷さばき施設を有していない。
- 荷さばき施設を有している建物の約 8 割は建物敷地内に単独で所有している。
- 設置者（社）の 76%が定期的な納品の状況があり、その時間帯は 13 時まで集中している、もしくは時間不定期となっている。さらに、その納品時間帯の変更は 7 割以上ができないと回答している。
- 荷さばきに関する方策として、共同荷さばきスペースやコインパーキングを利用した荷さばき、建物新増築時での荷さばき施設の整備が重要と考える割合が高い。

設問 1 貴社について

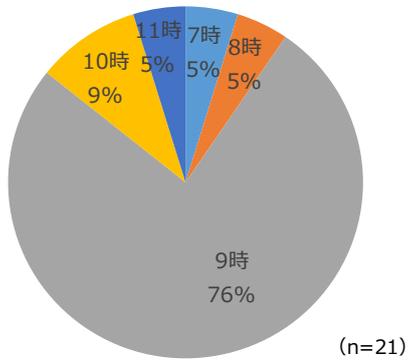
(1)業種



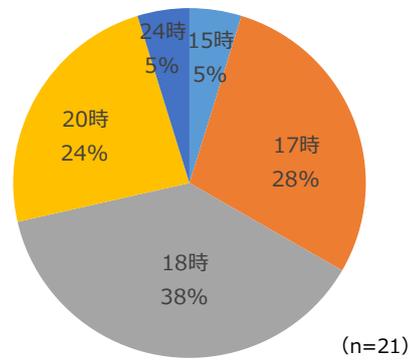
(2) 営業時間



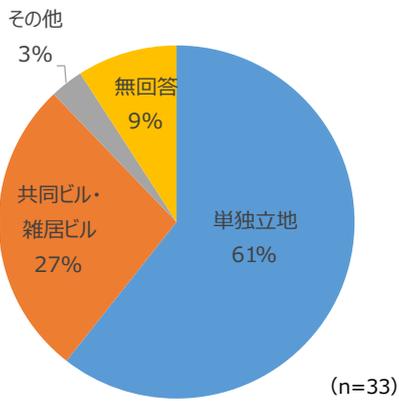
● 24 時間営業以外の営業時間
(始業)



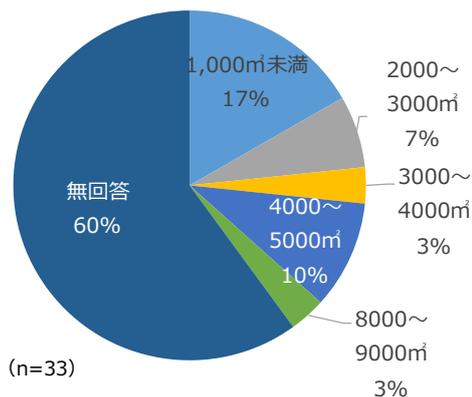
(終業)



(3) 立地状況

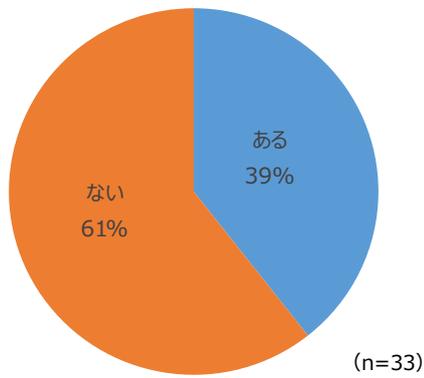


(4) 占有面積



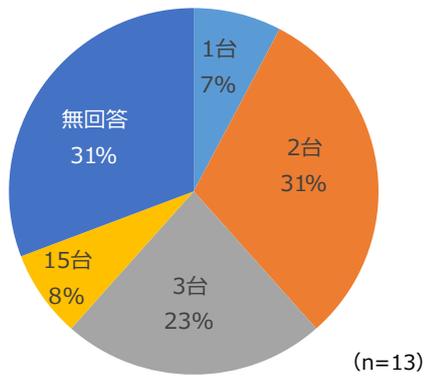
設問 2 荷さばき施設の設置状況

(1) 所有建物の荷さばき施設の有無

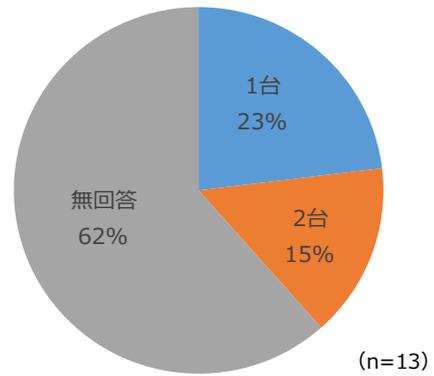


(2) 荷さばき施設の規模

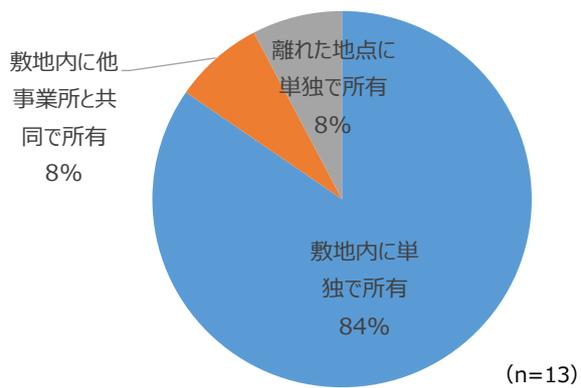
(小型)



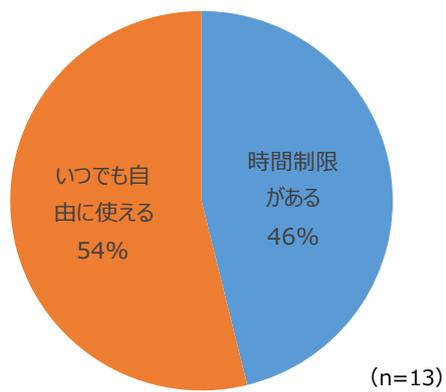
(大型)



(3) 所有形態

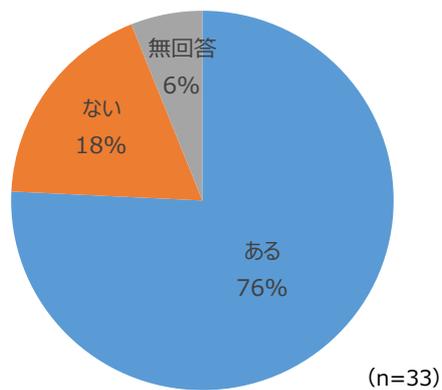


(4) 利用可能時間

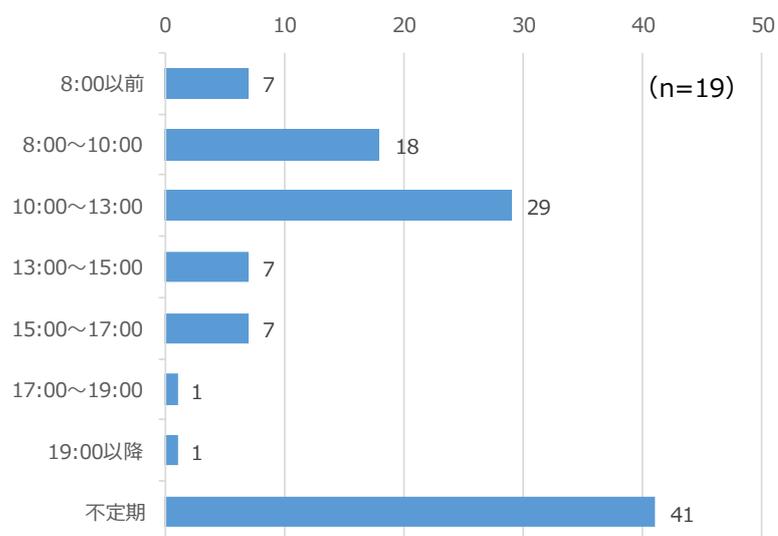


設問3 納品状況

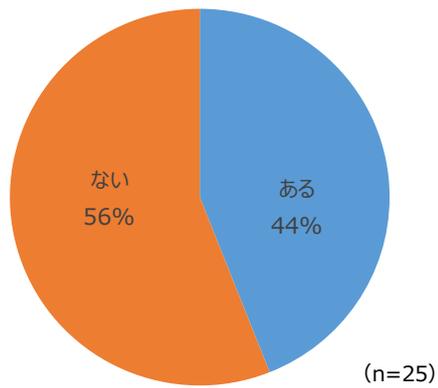
(1) 定期的な納品の有無



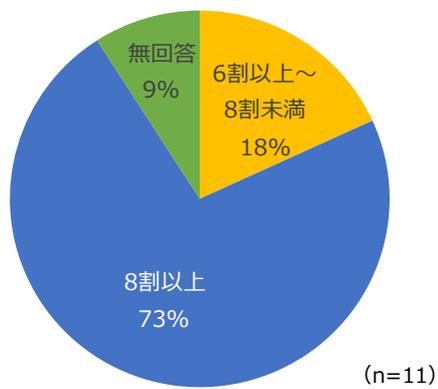
(2) 時間帯別の納品車両台数



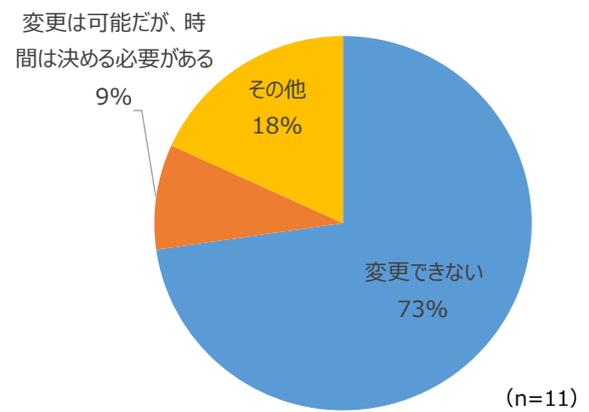
(3) 納品時間の指定有無



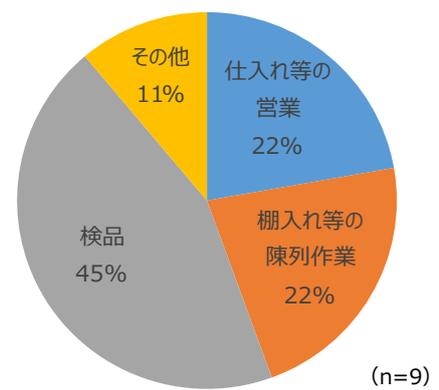
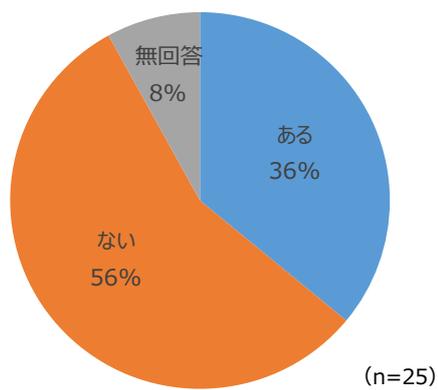
● 納品時間を指定している割合



● 時間指定の変更可否

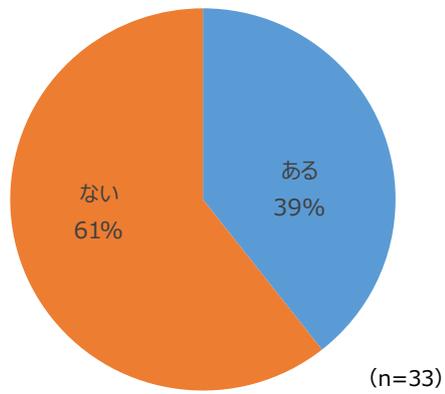


(4) 輸送車両による付帯行為の有無とその内容

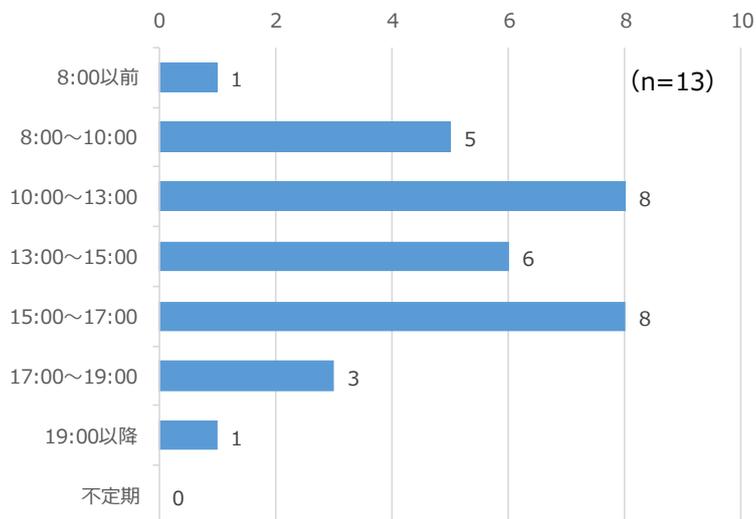


設問 4 出荷・発送状況

(1) 定期的な出荷・発送の有無

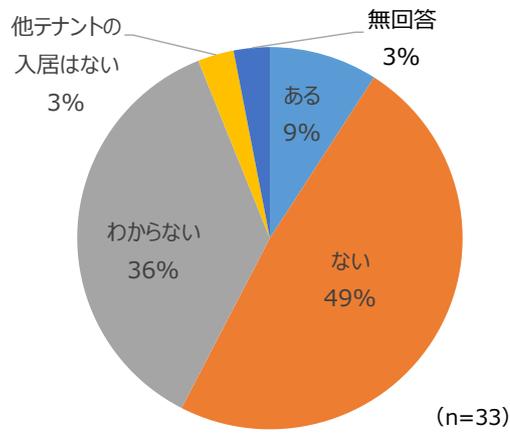


(2) 時間帯別の出荷・発送車両台数



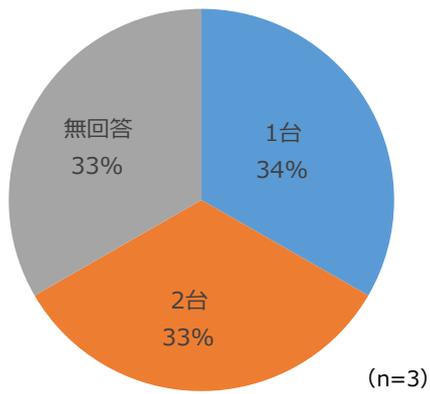
設問 5 入居テナントにおける荷さばき状況

(1) 入居テナントにおける荷さばきの有無

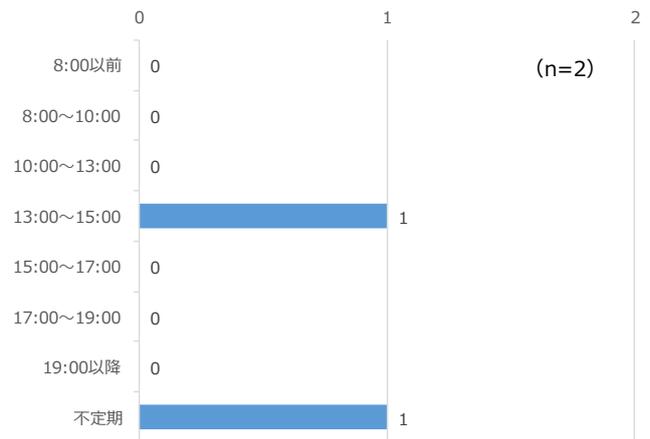


(2) 荷さばきがある場合の状況

● 納品車両台数



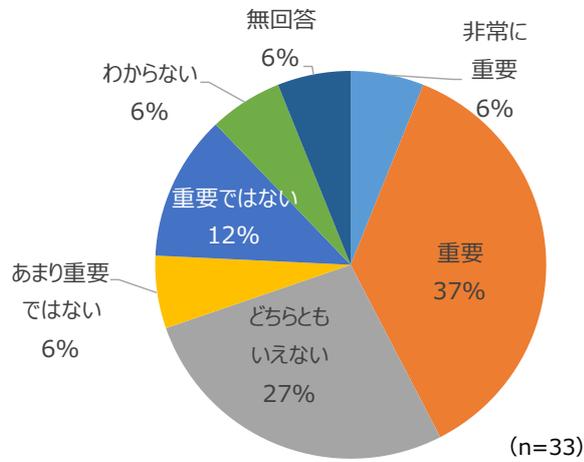
● 主な納品時間



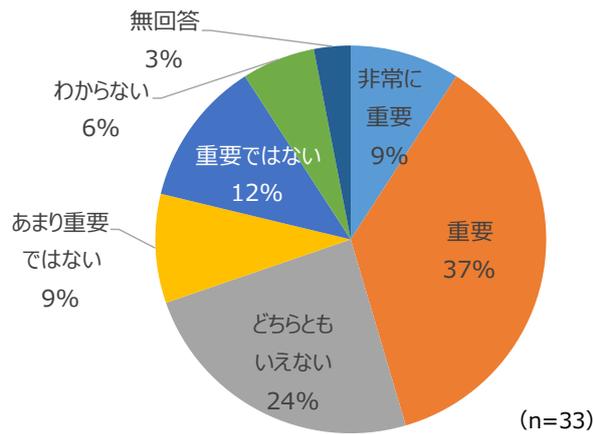
● 出荷・発送車両台数、主な出荷・発送時間
(回答無し)

設問 6 荷さばきの適正化に向けた方策について

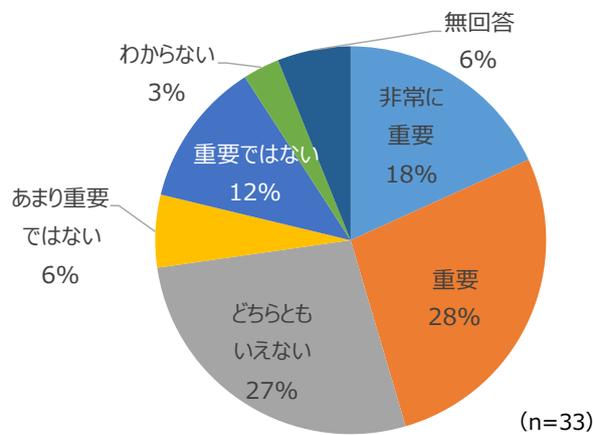
(1) 道路以外の場所に周辺の建物が共同で使用できる荷さばきスペースがある



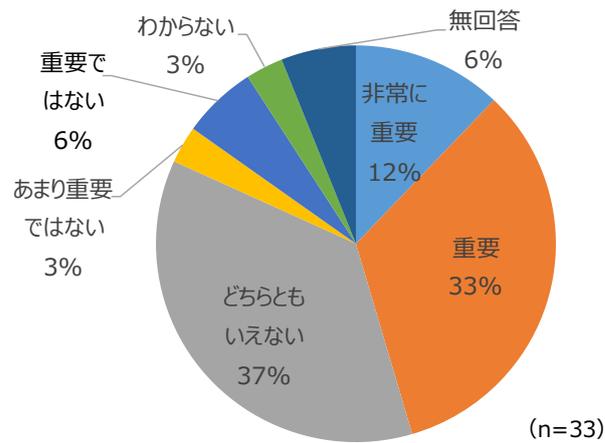
(2) 有料駐車場(コインパーキング等)の一部の駐車スペースを貨物車が駐車できるようにする



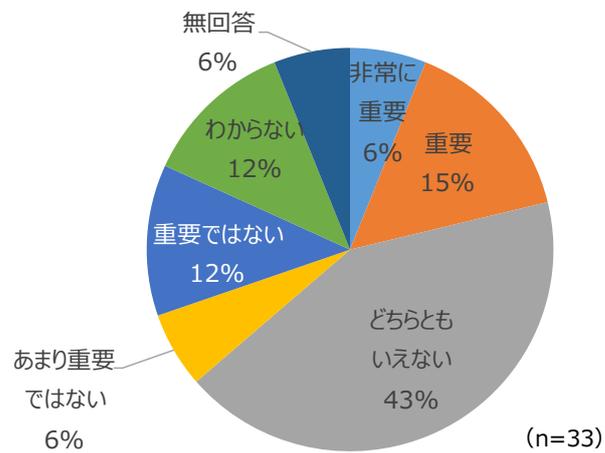
(3) 建物の新增築等の際し、荷さばき駐車施設を確保しなければならない仕組みを作る



(4)道路上で歩行者が少ない時間など特定の時間に限定して荷さばきを許可する



(5)各運送事業者の荷物は、一旦、共同荷さばき場に集め、その後地区内への荷物の配送は、各運送業者に代わって共同配送事業者がまとめて行う

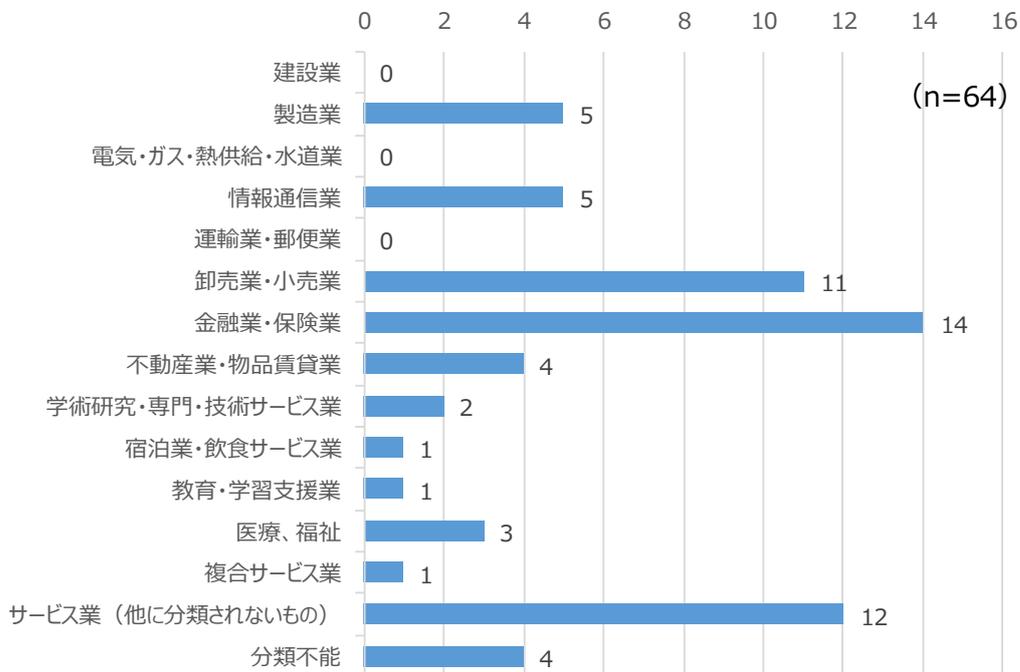


【テナント】

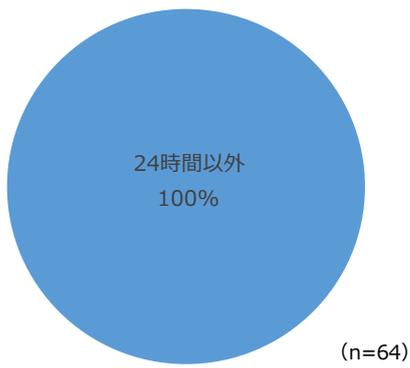
- 入居している建物の75%が荷さばき施設を保有していない。
- 荷さばき施設を有している建物の約7割は建物敷地内に単独で所有している。
- テナントの53%が定期的な納品の状況があり、その時間帯は不定期をトップとして特定の時間帯に集中していない。
- 荷さばきに関する方策として、共同荷さばきスペースの整備や建物新增築時での荷さばき施設の整備、荷さばき作業時間の限定（歩行者が少ない時間等）が重要と考える割合が高い。

設問1 貴社について

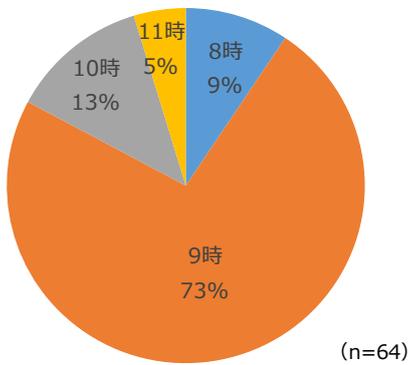
(1)業種



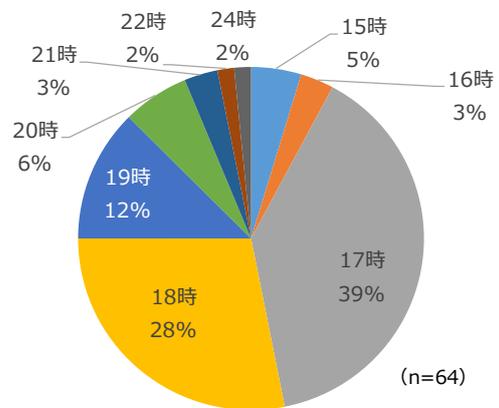
(2) 営業時間



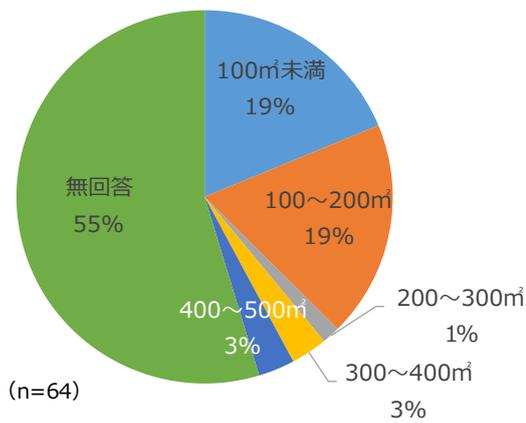
● 24 時間営業以外の営業時間
(始業)



(終業)

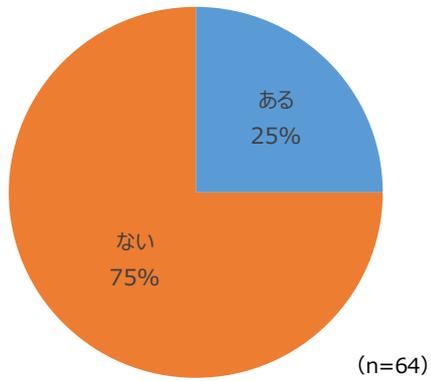


(3) 占有面積



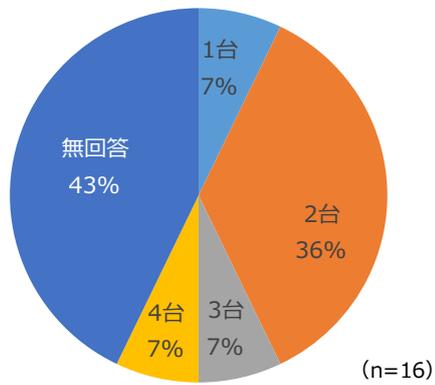
設問 2 荷さばき施設の設置状況

(1) 所有建物の荷さばき施設の有無

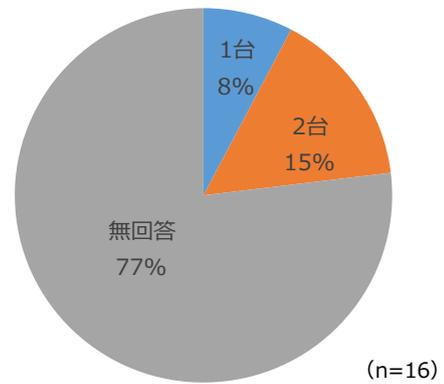


(2) 荷さばき施設の規模

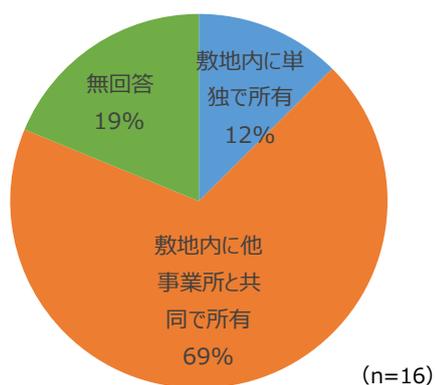
(小型)



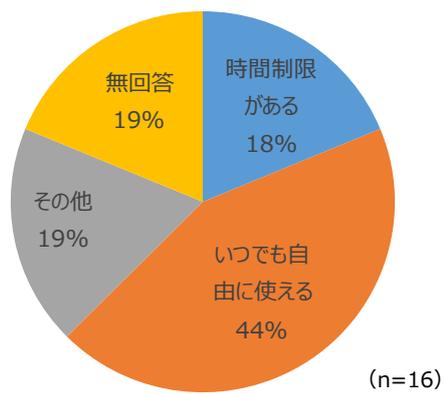
(大型)



(3) 所有形態

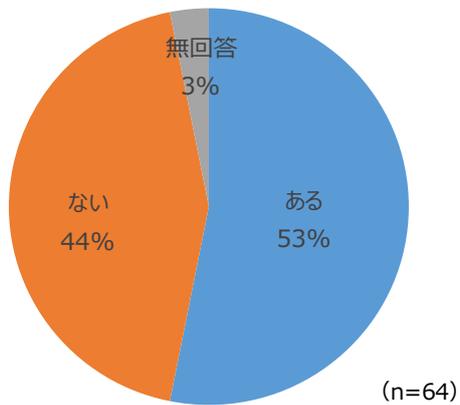


(4) 利用可能時間

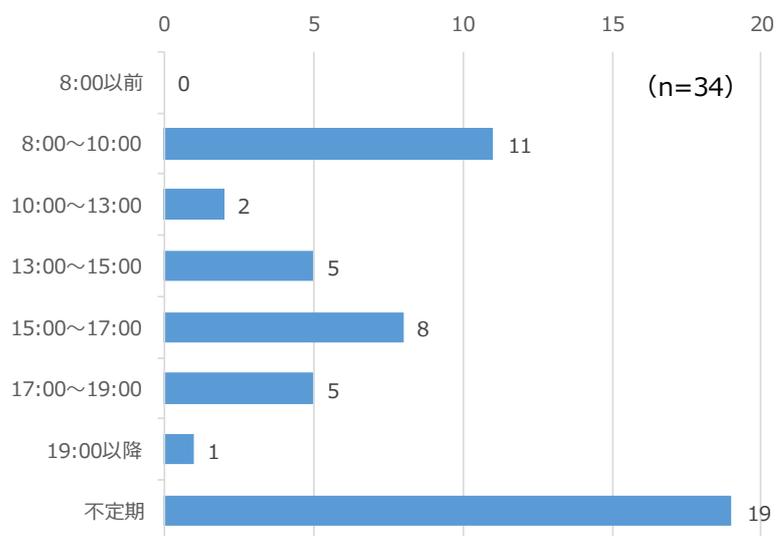


設問3 納品状況

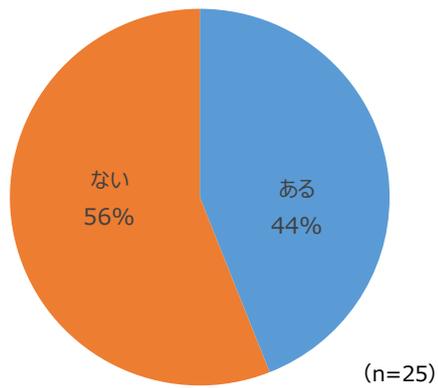
(1) 定期的な納品の有無



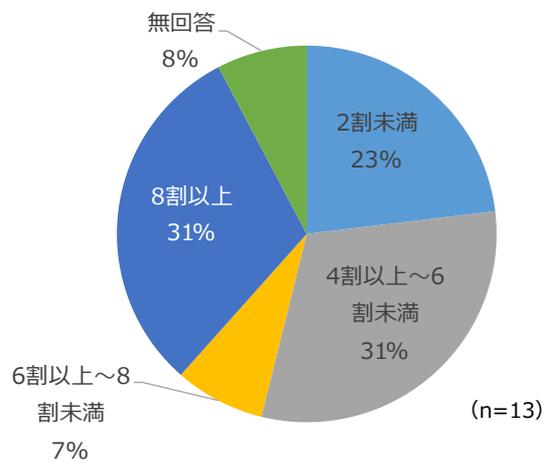
(2) 時間帯別の納品車両台数



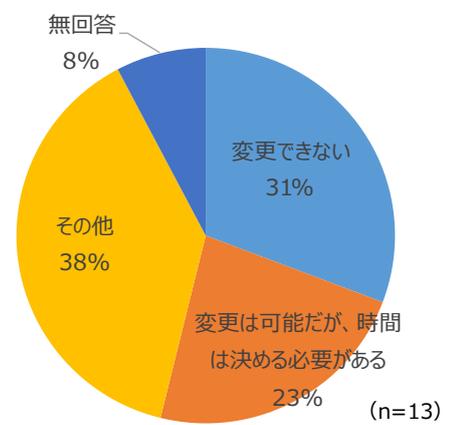
(3) 納品時間の指定有無



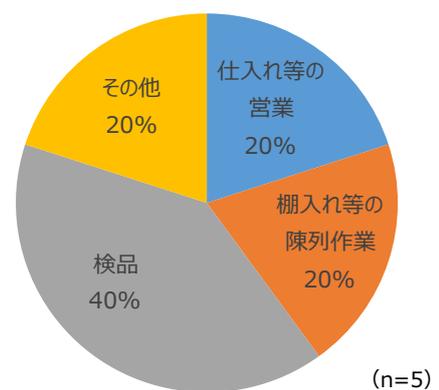
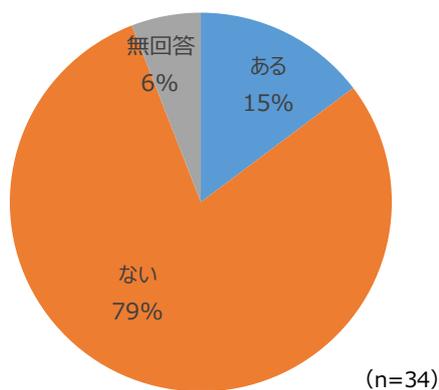
● 納品時間を指定している割合



● 時間指定の変更可否

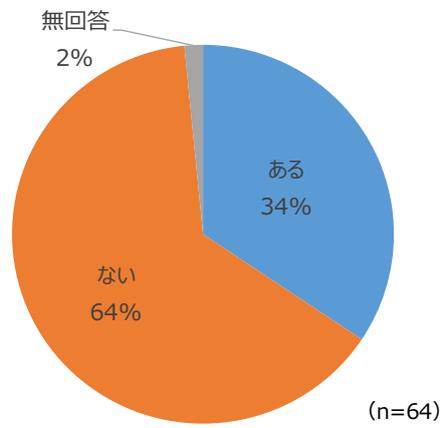


(4) 輸送車両による付帯行為の有無とその内容

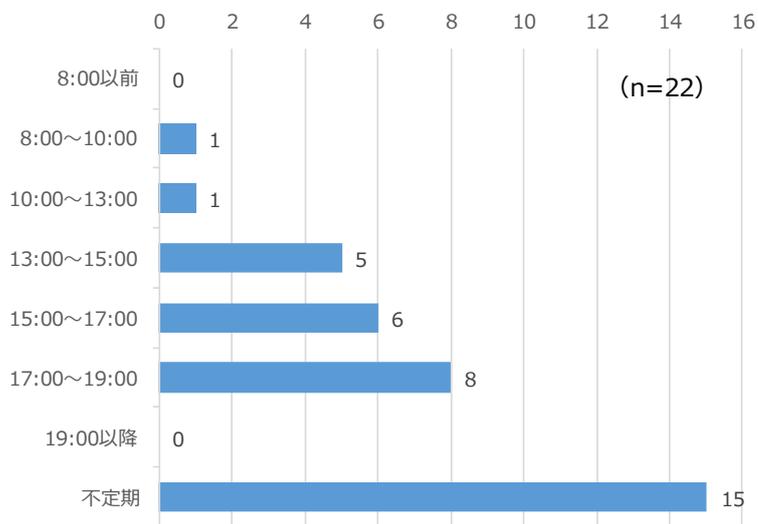


設問 4 出荷・発送状況

(1) 定期的な出荷・発送の有無

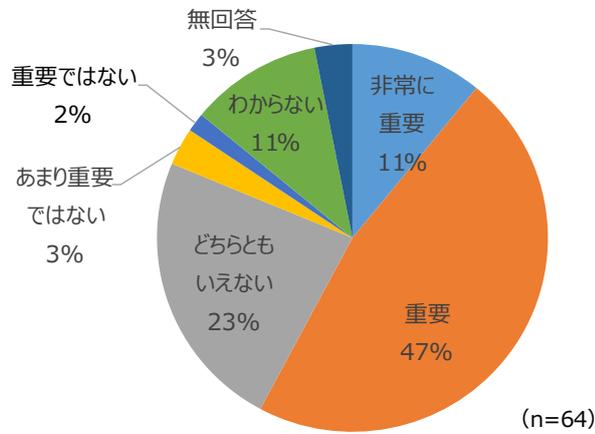


(2) 時間帯別の出荷・発送車両台数

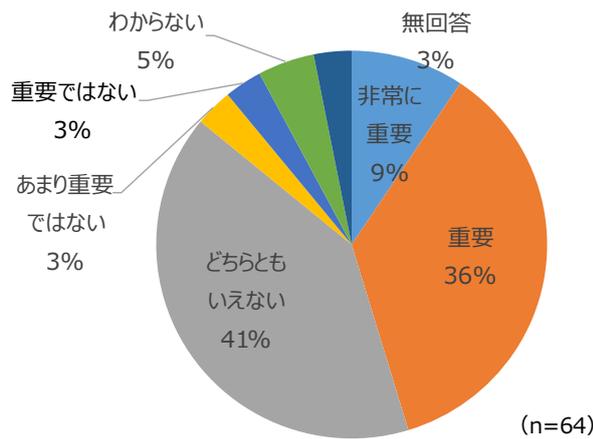


設問 5 荷さばきの適正化に向けた方策について

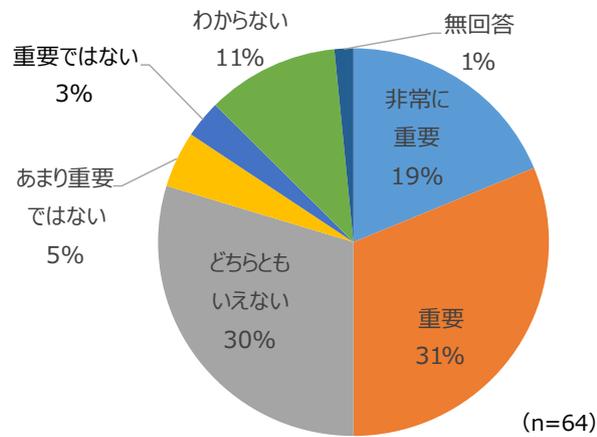
(1) 道路以外の場所に周辺の建物が共同で使用できる荷さばきスペースがある



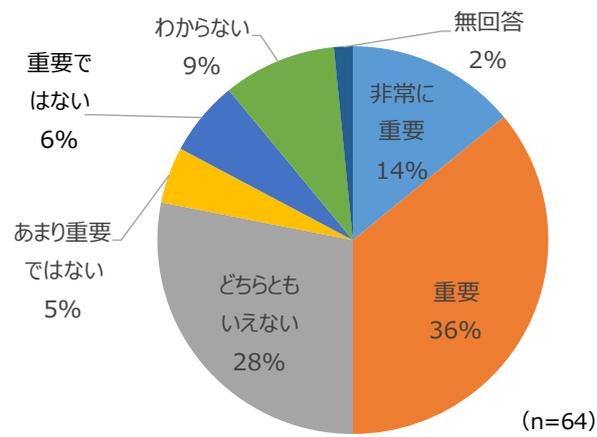
(2) 有料駐車場(コインパーキング等)の一部の駐車スペースを貨物車が駐車できるようにする



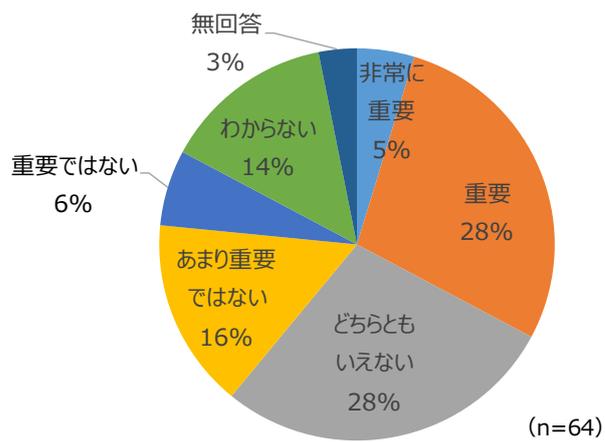
(3) 建物の新增築等の際し、荷さばき駐車施設を確保しなければならない仕組みを作る



(4) 道路上で歩行者が少ない時間など特定の時間に限定して荷さばきを許可する



(5) 各運送事業者の荷物は、一旦、共同荷さばき場に集め、その後地区内への荷物の配送は、各運送業者に代わって共同配送事業者がまとめて行う



VI. 路上駐車実態調査

1. 調査概要

下図に示す対象路線において、同色で示す区間を30分間ずつ区間（約100m）を4回移動し、2時間の連続調査を行う。（同色で示す路線の区間長は概ね400mとしている。）

(1) 調査日時

調査日：平日：令和元年11月19日（火）

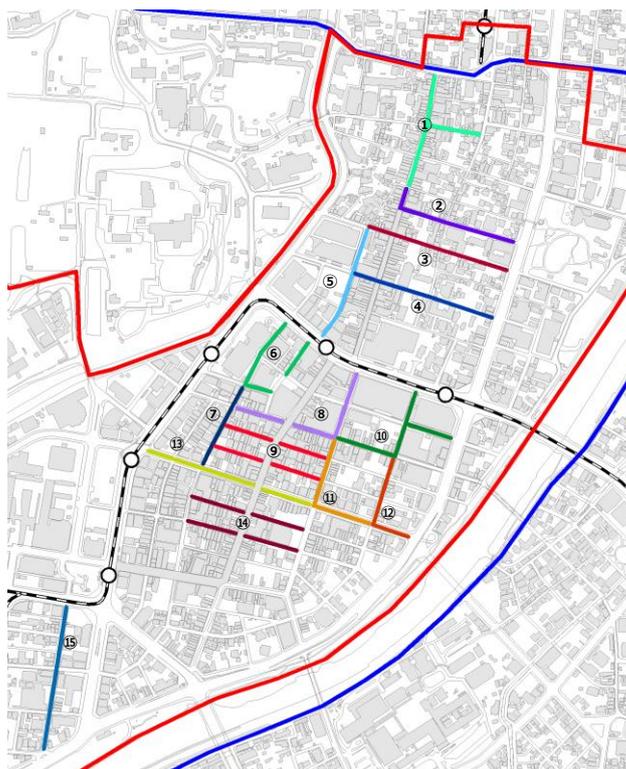
休日：令和元年11月24日（日）

調査時間：8～10時、11～13時、14～16時、17～19時の各2時間帯

(2) 調査項目

調査項目	観測内容	備考
駐車位置	駐車位置（路線の左右も含む）	地図上にプロット
車種	以下の分類で行う。 ・乗用車（3、5、7ナンバー） ・小型貨物（4、6ナンバー） ・大型貨物（1、2、9、0ナンバー）	
駐車時間	駐車してから発車するまでの時間	1区間30分単位で確認
荷さばき状況	・荷さばきの有無 ・荷さばき「有」の場合は、配送先と荷物内容 ・荷物の運搬手段（台車、手持ち等）	配送先・荷物内容については確認できた場合のみとするが、配送先については、可能な範囲で追跡調査を行い、地図上にプロットする。
事業者名	運送会社など、車両記載の内容	確認ができた場合のみ

(3) 調査対象路線

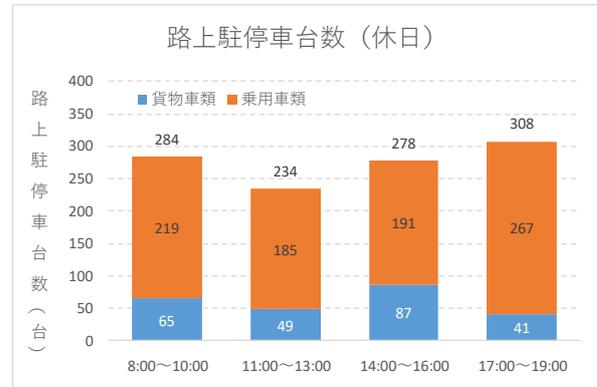
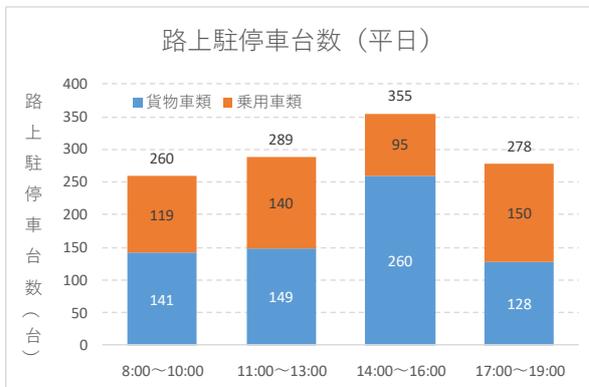


2. 調査結果概要

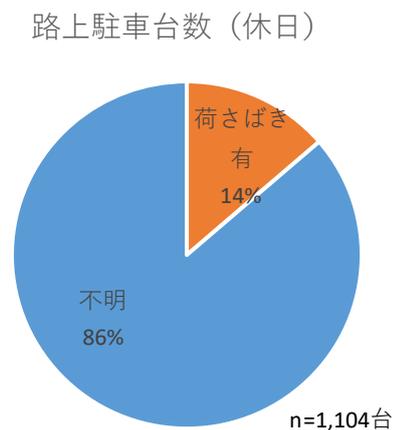
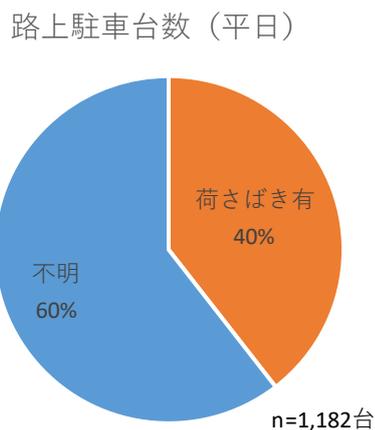
- 路上駐車台数は平日・休日とで大きな差は無いが、路上駐車車両のうち荷さばきを行った車両については、平日は40%、休日は14%と、平日が大きい。
- 路上駐車台数は路線10がも多いが、路上駐車台数のうち荷さばきを行った割合は大きい路線は、路線1、7、9となっている。
- 荷物内容は、平日は段ボールが多く、休日は飲料が多い。また、平日は手持ちでの運搬が多いが、休日は台車を用いての運搬が多い。
- 荷さばきのための駐車した時間は、5分未満が多い。

(1) 路上駐車の状況

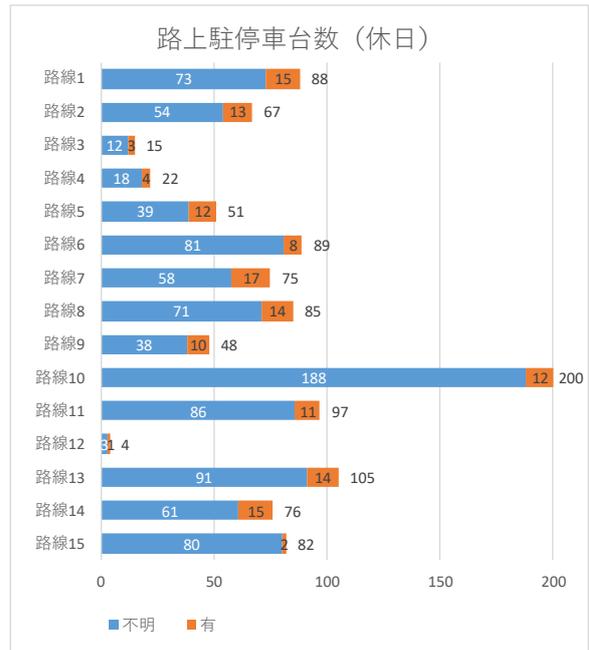
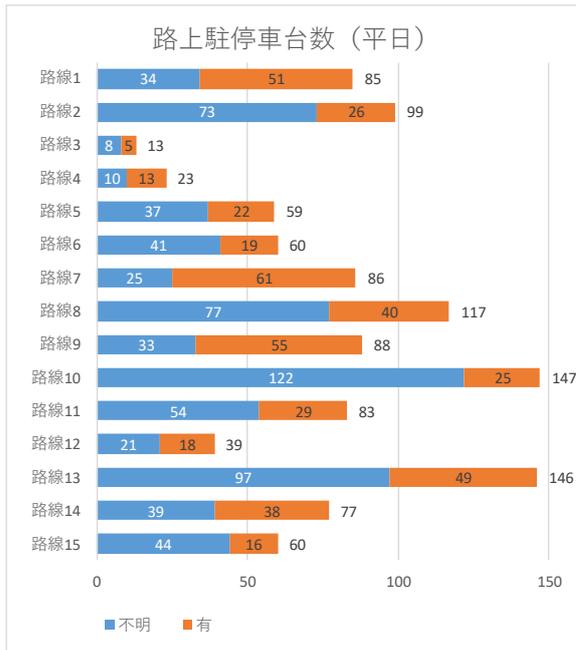
① 路上駐車台数



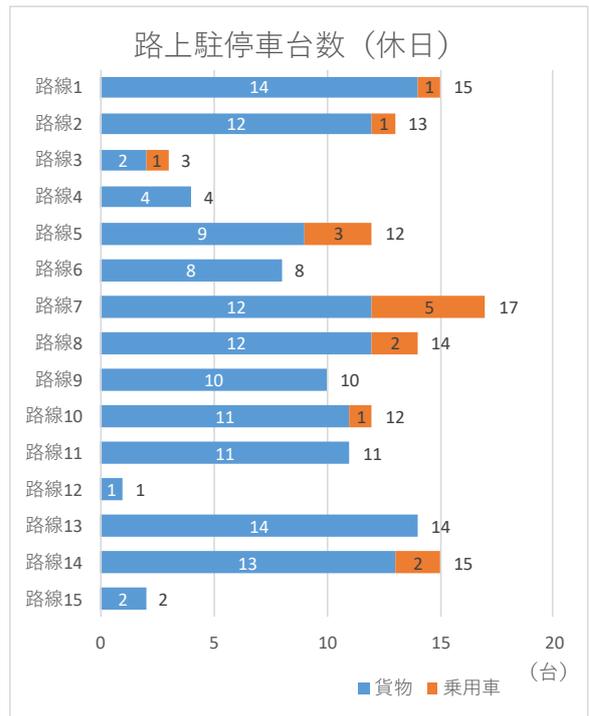
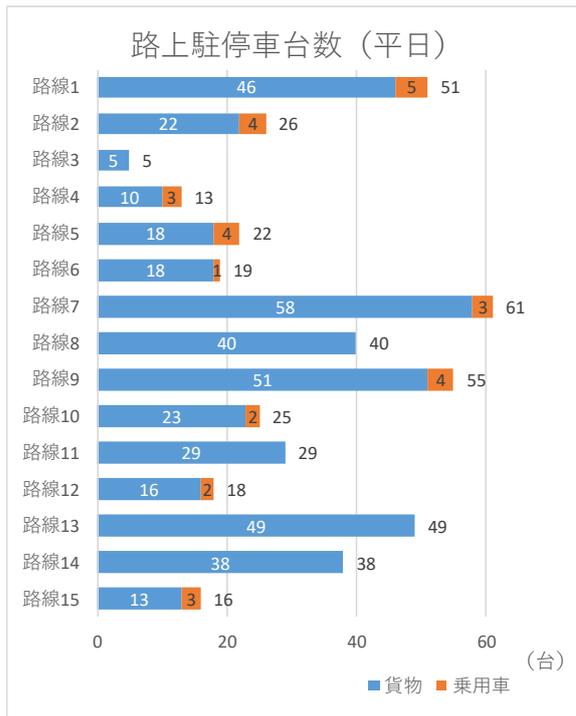
② 荷さばき実施の割合



③ 路線別路上駐車台数・荷さばき実施状況

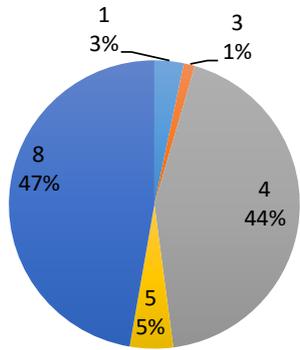


④ 荷さばきを行った路上駐車車両の車種

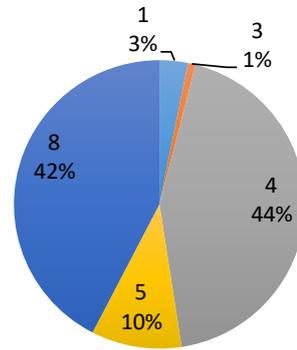


⑤荷さばき車両の車頭番号

荷さばき車両の車頭番号（平日）

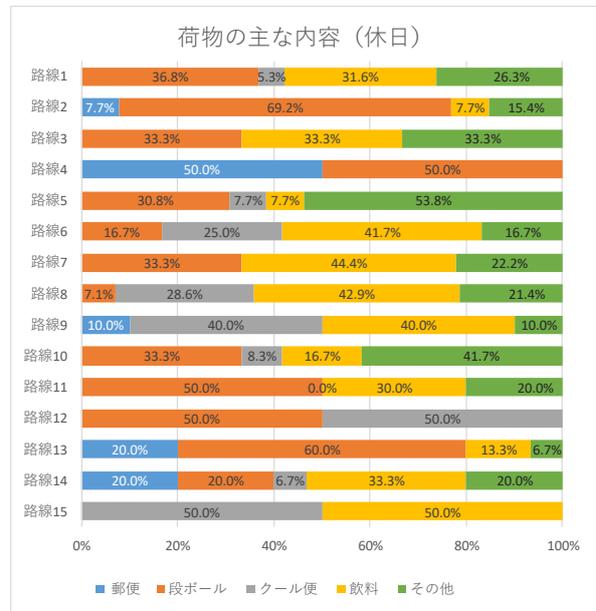
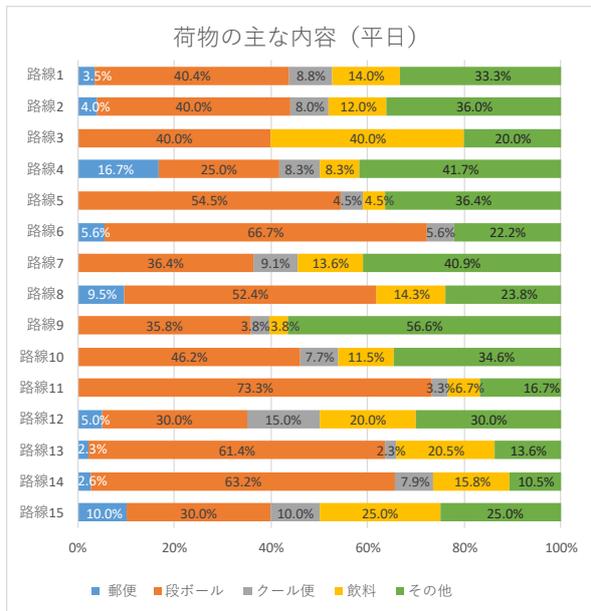


荷さばき車両の車頭番号（休日）

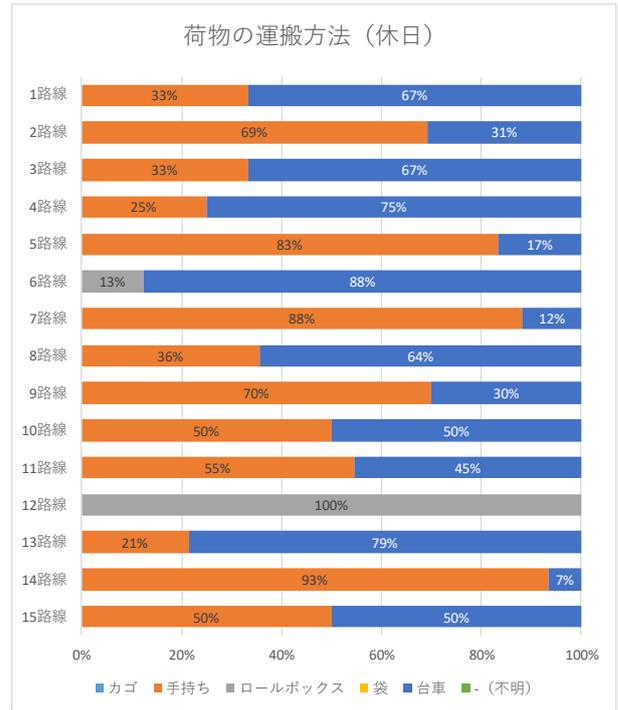
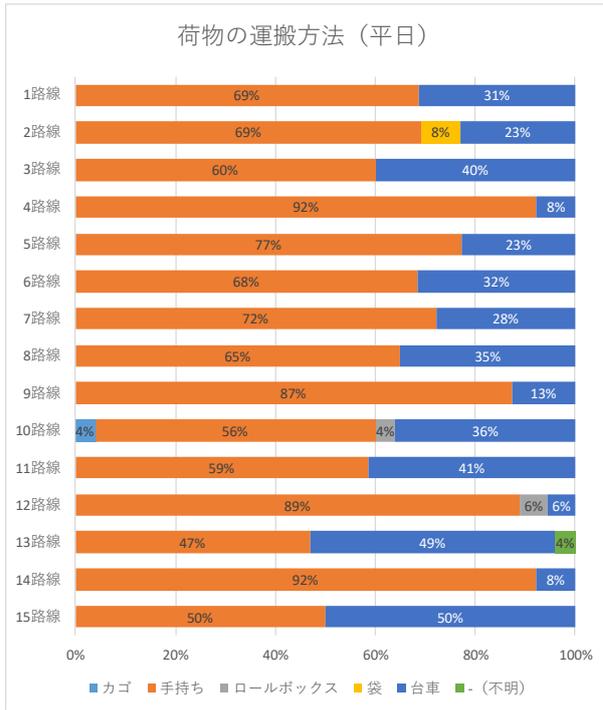


(2)荷さばきの状況

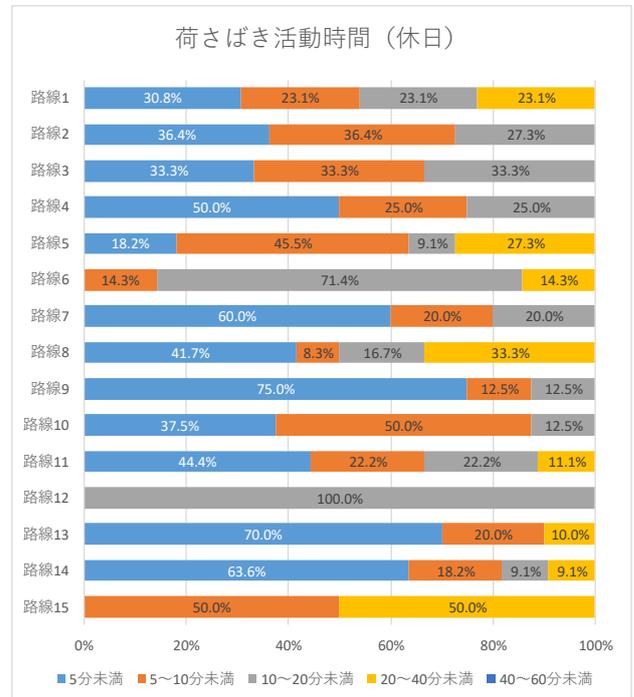
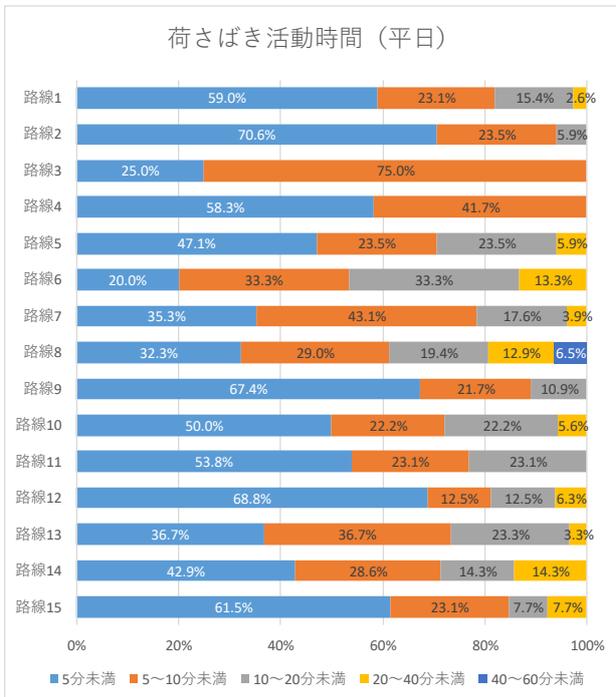
①荷物内容



② 運搬方法



③ 荷さばき活動時間



Ⅶ. 歩行者・自転車交通量調査

1. 調査概要

対象交差点を通行する歩行者、自転車の量を観測する。1 時間毎に 5 分間計測を行い、12 を乗じた値を 1 時間当たりの通行量とした。

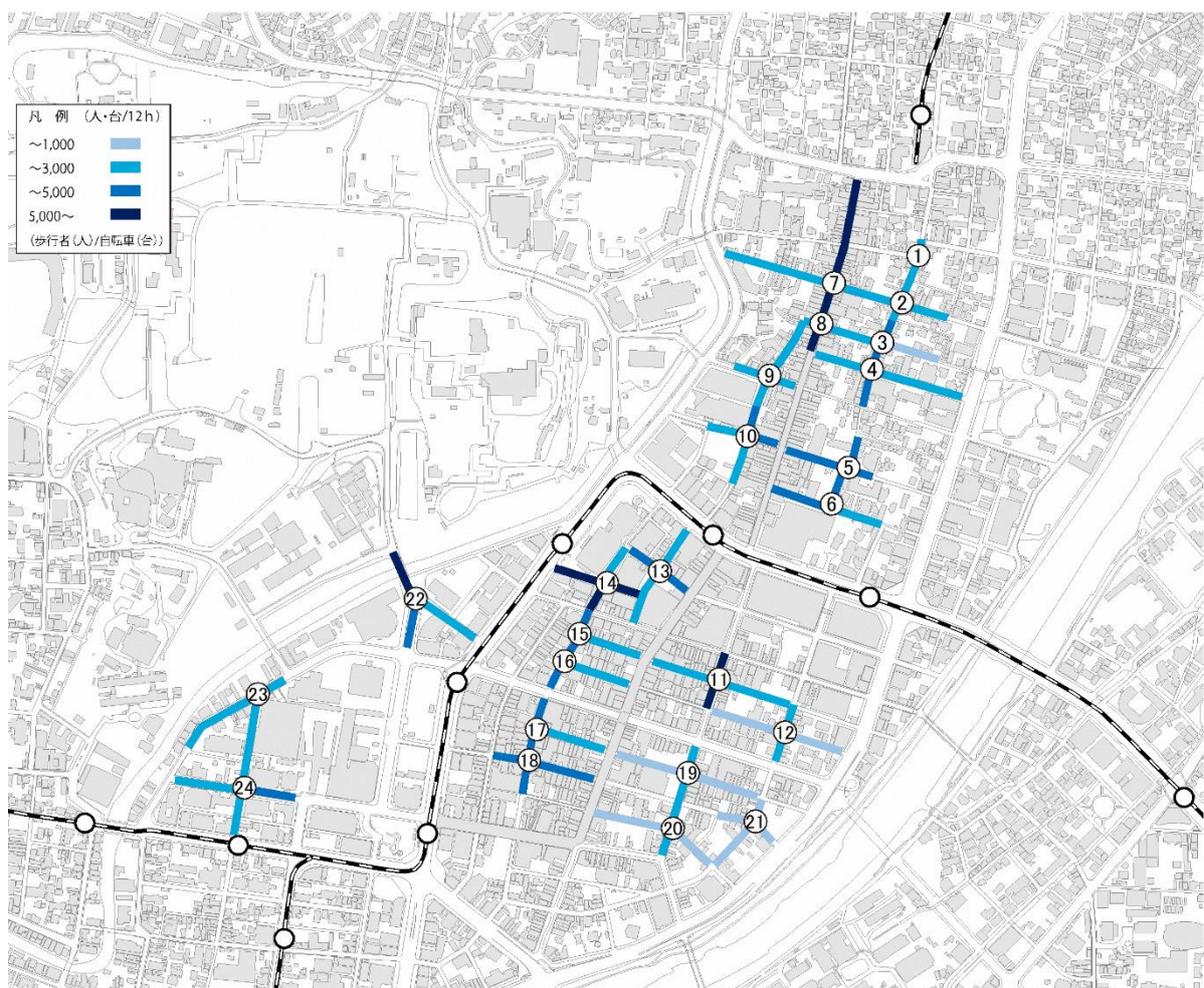
調査日：平日：令和元年 11 月 19 日（火）

休日：令和元年 11 月 24 日（日）

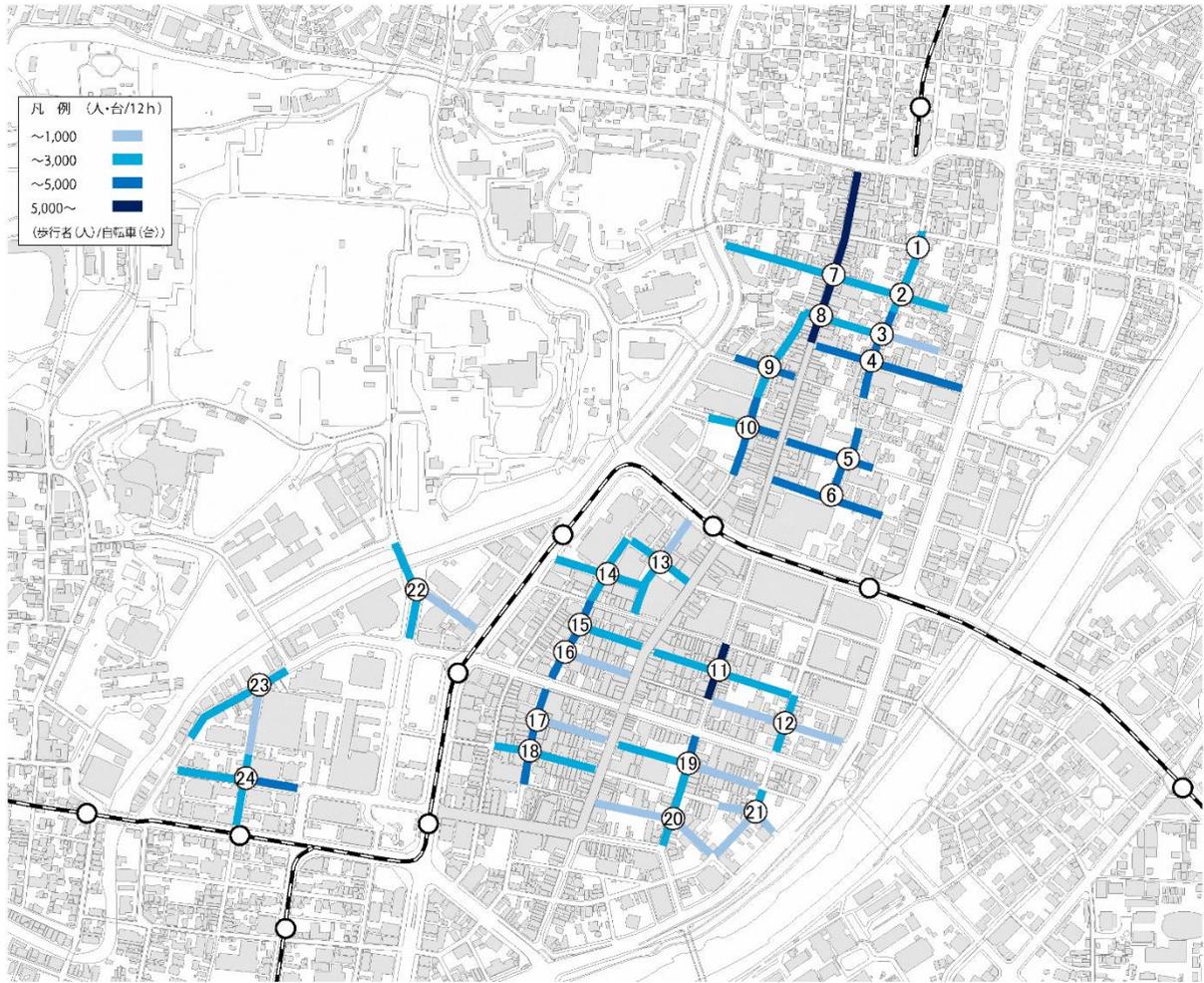
調査時間：平休とも 8 時～20 時（12 時間）

2. 調査結果

【平日】

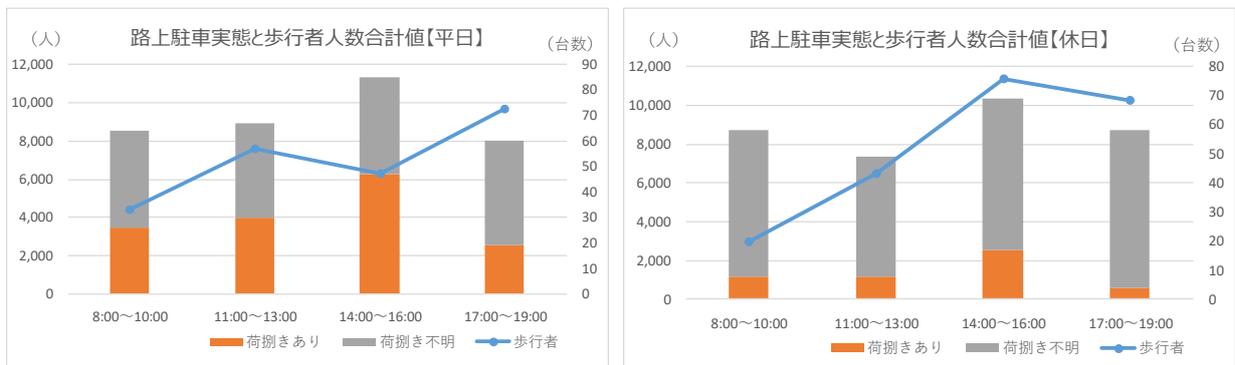


【休日】



【路上駐車台数と歩行者交通量】

路上駐車実態調査を行った区間において、路上駐車台数と歩行者人数との関係を以下に示す。



※路上駐車実態調査対象区間における歩行者人数・路上駐車台数の全区間合計値を時間帯毎に平均したものを示す

巻末資料（各調査票）

以下に、各調査における調査票を添付する。

利用実態調査

入出庫台数調査表

調査地点No. 0

調査地点名: 0

調査年月日: 令和元年 月 日 ()

天気: _____

車種分類	小型車	大型車
ナンバープレート	3・4・5・6・7	1・2・8・9・0

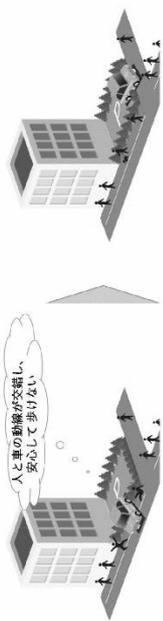
時間	入庫		出庫		入庫待ち台数(記入時の台数)	
	小型車	大型車	小型車	大型車	小型車	大型車
07:00~07:10					台	台
07:10~07:20					台	台
07:20~07:30					台	台
07:30~07:40					台	台
07:40~07:50					台	台
07:50~08:00					台	台
08:00~08:10					台	台
08:10~08:20					台	台
08:20~08:30					台	台
08:30~08:40					台	台
08:40~08:50					台	台
08:50~09:00					台	台
09:00~09:10					台	台
09:10~09:20					台	台
09:20~09:30					台	台
09:30~09:40					台	台
09:40~09:50					台	台
09:50~10:00					台	台
10:00~10:10					台	台
10:10~10:20					台	台
10:20~10:30					台	台
10:30~10:40					台	台
10:40~10:50					台	台
10:50~11:00					台	台
11:00~11:10					台	台
11:10~11:20					台	台
11:20~11:30					台	台
11:30~11:40					台	台
11:40~11:50					台	台
11:50~12:00					台	台
12:00~12:10					台	台
12:10~12:20					台	台
12:20~12:30					台	台
12:30~12:40					台	台
12:40~12:50					台	台
12:50~13:00					台	台

駐車場利用者聞き取り調査

設問7 昨今、市内中心部では、建築物の解体後に駐車場へ転換されるなど、まちなかの賑わいが失われることを懸念しております。このように、熊本市では、市内中心部における駐車場において以下のような取組を検討しています。これについて、あなたのお考えをお聞かせ下さい。

取組内容	推進すべき と推測すべき	どちらかという と進めたい	どちらかという と進めたくない	どちらかという と進めたくない	わからない
1. 歩行者が多い道路等に面する駐車場は、歩行者の安全に配慮した駐車場の配置とする					
2. 中心部の駐車場を周辺にある駐車場へ集約し、中心部への自動車の集中を緩和する					
3. 駐車場整備基準を見直し、建築物の低層階にある駐車場をお店などに転換する					
4. 中心部のお店で買い物や食事をすると、この駐車場でも使える共通割引券をつくり、駐車待ち渋滞を解消する					

1. 【歩行環境向上】歩行者が多い道路等に面する駐車場は、歩行者の安全に配慮した駐車場の配置とする。

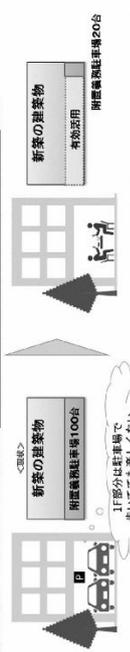


2. 【歩行環境向上】中心部の駐車場をその周辺にある駐車場へ集約し、中心部への自動車の集中を緩和する。

(例) 下通アーケードの近にある駐車場を国道3号周辺にある駐車場へ集約する



3. 【賑わい促進】駐車場整備基準を見直し、建築物の低層階にある駐車場をお店などに転換する。



4. 【交通円滑化】中心部のお店で買い物や食事をすると、この駐車場でも使える共通割引券をつくり、駐車待ち渋滞を解消する。



駐車場に関して、その他ご意見があればお願いします。

以上です。ご協力ありがとうございました。

調査日	令和元年 11 月 () 日 () 時 () 分	調査箇所
性別	男 女 年代	利用人数
性	男 女 年代	代 人

駐車場利用者ヒアリングシート

設問1 本日の出発地はどこですか。

1. 熊本市内(中央区・東区・西区・北区・南区)
2. 熊本市外(熊本県 _____ 市・町・村)
3. 熊本県外(都・道・府・県)

設問2 本日の来街目的を教えてください。

1. 勤務先へ(帰社)
2. 業務先へ(取引先、配達先、打合せ・会議、作業等)
3. 通学先へ(帰行舎)
4. 自宅へ(帰宅)
5. 買物
6. 食事・社交・娯楽
7. 観光・行楽・レジャー
8. 通院
9. 送迎
10. その他()

設問3 目的地とそこまでの移動手段を教えてください。複数ある場合は、全てお答え下さい。

目的地(施設名、ビル名、住所)	そこまでの移動手段
目的地1()	徒歩・市電・路線バス・タクシー・その他()
目的地2()	徒歩・市電・路線バス・タクシー・その他()
目的地3()	徒歩・市電・路線バス・タクシー・その他()
目的地4()	徒歩・市電・路線バス・タクシー・その他()

設問4 駐車場の利用時間を教えてください。(これから出かける方は、概ねで結構です。)

1. 30分以内
2. 30分～1時間
3. 1～2時間
4. 2～3時間
5. 3～4時間
6. 4～5時間
7. 5～6時間
8. 6～7時間
9. 8～9時間
10. 9～10時間
11. 10時間以上

設問5 この駐車場を選択した理由を教えてください。(複数回答可)

1. 目的地に近いから
2. 料金が安いから
3. 料金の割引サービスがあるから
4. 契約しているから
5. 駐車場に停めやすいから(広さ、形式など)
6. キャッシュレスサービス(クレジットカードやICカード)があるから
7. 目的地近隣の駐車場が空いていなかったから(空いていなかった駐車場名・場所)
8. その他()

設問6 本日、公共交通を利用しなかった理由を教えてください。(複数回答可)

1. 公共交通を利用しづらいから(自宅から電停・バス停が遠いなど)
 2. 自動車を利用せざるを得ない状況にあるから(足が不自由など身体的理由 など)
 3. 公共交通を利用するのが面倒だから(車の方が楽、早い など)
 4. その他()
- 今後、公共交通利用者に対して、どのようなサービスがあれば公共交通を利用すると思いますか。(複数回答可)
- 3-1. 買い物すると運賃割引がある(例: 3,000円以上の買い物に対して、300円分の公共交通利用券を配布)
 - 3-2. 買い物すると特典がある(例: 商品購入で店舗独自のポイントが3倍になる)
 - 3-3. 買い物した荷物を配達してくれる(例: 5,000円以上の買い物に対して、商品配送料が無料になる)
 - 3-4. 停留所や施設内に屋根やベンチなどが完備され、快適な待合施設がある
 - 3-5. その他()

荷さばきに関するアンケート調査票

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

設問1 貴社についてお聞かせ下さい。

業種	1. 建設業 2. 製造業 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 4. 情報通信業 5. 運輸業・郵便業 6. 卸売業・小売業 7. 金融業・保険業 8. 不動産業・物品賃貸業 9. 学術研究・専門・技術サービス業 10. 宿泊業・飲食サービス業 11. 教育・学習支援業 12. 医療・福祉 13. 複合サービス業 14. サービス業(他に分類されないもの) 15. 分類不能()
営業時間	1. ()時～()時 2. 24時間営業
占有面積	()㎡ ※概略で可 (面積不明の場合:当該ビル()階～()階までを占有)

設問2 貴社が入居するビルの荷さばき施設の設置状況についてお聞かせ下さい。

荷さばき施設規模	1. ある 2. ない <input type="checkbox"/> 設問3 へ
所有形態	1. 敷地内に単独で所有 2. 敷地内に他事業所と共同で所有 3. 離れた地点に単独で所有 4. 離れた地点に他事業所と共同で所有 5. その他()
利用可能時間	1. 時間制限がある <input type="checkbox"/> 【開始～終了時刻】()時～()時 2. いつでも自由に使える 3. その他()

設問3 貴社への納品状況についてお聞かせ下さい。

納品時間帯別の納品車両台数(日平均)	1. ある 8:00以前 ()台 8:00～10:00 ()台 10:00～13:00 ()台 13:00～15:00 ()台 15:00～17:00 ()台 17:00～19:00 ()台 19:00以降 ()台 2. ない
納品時間指定の有無	1. ある 2. ない ※・納品時間を指定している割合は
納品時間指定の有無	1. 2割未満 2. 2割以上～4割未満 3. 4割以上～6割未満 4. 6割以上～8割未満 5. 8割以上 ・その時間は変更が可能ですか 1. 変更できない 2. 変更は可能だが、時間は決める必要がある(儲めることはできる) 3. 時間指定をやめてもよい 4. その他(判断できない等)
輸送車両による付帯行為の有無	1. ある 2. ない ↳ 1. 仕入れ等の営業 2. 棚入れ等の陳列作業 3. 検品 4. その他()

※「納品」とは、定期的な商品や業務に必要な物品・材料・部品等が車両によって搬入されている状況を示します。

郵便や小口・単品の宅急便については対象外です。



裏面へ

【テナント用】

設問4 貴社からの出荷・発送状況についてお聞かせ下さい。

出荷・発送時間帯別の出荷・発送車両台数(日平均)	1. ある 8:00以前 ()台 8:00～10:00 ()台 10:00～13:00 ()台 13:00～15:00 ()台 15:00～17:00 ()台 17:00～19:00 ()台 19:00以降 ()台 2. ない <input type="checkbox"/> 設問5 へ 不定期 ()台
--------------------------	--

※「出荷・発送」とは、定期的な商品や製品等を車両によって搬出する状況を示します。

郵便や小口・単品の宅急便については対象外です。

設問5 本市の中心市街地では、効率的な荷さばき、ひいては、安全快適に回遊できる歩行空間の形成に向けて、荷さばきができる適切な場所が必要だと考えております。その実現に向けた方策についてそれぞれご意見をお聞かせ下さい (いずれかの番号に一つ〇)

	非常に重要	重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
1. 道路以外の場所に周辺の建物が共同で使用できる荷さばきスペースがある。	1	2	3	4	5	6
2. 有料駐車場(コインパーキング等)の一部の駐車スペースを貨物車が駐車できるようにする。	1	2	3	4	5	6
3. 建物の新増築等に際し、荷さばき駐車施設を確保しなければならない仕組みを作る。	1	2	3	4	5	6
4. 道路上で歩行者が少ない時間など特定の時間に限定して荷さばきを許可する。	1	2	3	4	5	6
5. 各運送事業者の荷物は、一旦、共同荷さばき場に集め、その後地区内への荷物の配送は、各運送事業者に代わって共同配送事業者がまとめて行う。	1	2	3	4	5	6

今後の荷さばきに関わる施策について意見があればご記入ください

以上です。ご協力ありがとうございます。

歩行者及び自転車交通量調査

歩行者類交通量調査表

エリアNo. **A**

調査年月日： 令和元年 月 日 ()

調査地点No. 1 調査地点名：〇〇交差点

分類 方向	歩行者						分類 方向	歩行者						氏名
	①→②	①→③	①→④	②→①	②→③	②→④		③→①	③→②	③→④	④→①	④→②	④→③	
7: ~ 7:							7: ~ 7:							
8: ~ 8:							8: ~ 8:							
9: ~ 9:							9: ~ 9:							
10: ~ 10:							10: ~ 10:							
11: ~ 11:							11: ~ 11:							
12: ~ 12:							12: ~ 12:							
分類 方向	自転車						分類 方向	自転車						備考
	①→②	①→③	①→④	②→①	②→③	②→④		③→①	③→②	③→④	④→①	④→②	④→③	
7: ~ 7:							7: ~ 7:							
8: ~ 8:							8: ~ 8:							
9: ~ 9:							9: ~ 9:							
10: ~ 10:							10: ~ 10:							
11: ~ 11:							11: ~ 11:							
12: ~ 12:							12: ~ 12:							

調査地点No. 1 調査地点名：〇〇交差点

分類 方向	歩行者						分類 方向	歩行者						氏名
	①→②	①→③	①→④	②→①	②→③	②→④		③→①	③→②	③→④	④→①	④→②	④→③	
7: ~ 7:							7: ~ 7:							
8: ~ 8:							8: ~ 8:							
9: ~ 9:							9: ~ 9:							
10: ~ 10:							10: ~ 10:							
11: ~ 11:							11: ~ 11:							
12: ~ 12:							12: ~ 12:							
分類 方向	自転車						分類 方向	自転車						備考
	①→②	①→③	①→④	②→①	②→③	②→④		③→①	③→②	③→④	④→①	④→②	④→③	
7: ~ 7:							7: ~ 7:							
8: ~ 8:							8: ~ 8:							
9: ~ 9:							9: ~ 9:							
10: ~ 10:							10: ~ 10:							
11: ~ 11:							11: ~ 11:							
12: ~ 12:							12: ~ 12:							